

● 空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑱ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A, R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>11 騒音装置</p> <p>12 その他</p>	<p>トイレブースに設置する。</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>2 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>																																																												
			<p>1 設計温湿度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>47.4%</td> <td>26℃</td> <td>50%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.7℃</td> <td>48.9%</td> <td>20℃</td> <td>40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>		外 気				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	47.4%	26℃	50%	℃	%	℃	%	冬 期	0.7℃	48.9%	20℃	40%	℃	%	℃	%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>																									
	外 気				屋 内																																																												
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																									
夏 期	36.9℃	47.4%	26℃	50%	℃	%	℃	%																																																									
冬 期	0.7℃	48.9%	20℃	40%	℃	%	℃	%																																																									
<p>2 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない</p> <p>室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>※垂鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>	<p>○ 消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設・SGP-VS ・HIVP ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設・SGP-VS ・HIVP ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p>	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※ガス用PE管</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>																																																														
<p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※垂鉛鉄板製 ・ガラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>1 小機器用節水装置</p> <p>JIS B 2061 (自動水栓) による電気開閉式とし、小機器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 バリアフリー対応</p> <p>・小機器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 掃除流し</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>8 排水器具用継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>9 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>10 水せっけん入れ</p> <p>せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>○ 厨房設備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>	<p>● ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※ガス用PE管</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>																																																														
<p>① 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライ管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※硬質塩化ビニル管VP (カラー) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (EXTRA GOLFのバリエーション) 相当品 ・耐火二層管VP (FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 送 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p> <p>12 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はビーター方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ローラー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>	<p>○ 自動制御</p> <p>① 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>② 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>③ 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>	<p>○ 排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。</td> <td>※RSUS ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シラン内配管</td> <td>※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※RSUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>地上配管</td> <td>・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>中水配管</td> <td>・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空隙壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。</td> <td>※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シラン内配管</td> <td>※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※RSUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空隙壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. RSUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ゲージ入 ※拡管) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用枠を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>5 量水器掛</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RSUS ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シラン内配管	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※RSUS	地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)	地上配管	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)	中水配管	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シラン内配管	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※RSUS	地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・排水用/ホッパー付 被覆鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>耐火性能を要求される箇所</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・排水用/ホッパー付 被覆鋼管	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP	共通	耐火性能を要求される箇所	通気配管	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
施 工 箇 所	管 種 別																																																																
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RSUS ・ポリブテン管																																																																
ウエット厨房、浴室等の湿潤シラン内配管	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管																																																																
保温をしない屋外露出部	※RSUS																																																																
地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
地上配管	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
中水配管	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																
便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																
その他の部分	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管																																																																
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管																																																																
湿潤シラン内配管	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管																																																																
保温をしない屋外露出部	※RSUS																																																																
地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																
便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																
その他の部分	※RSUS ・HIVP ・ポリブテン管																																																																
施 工 箇 所	管 種 別																																																																
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP																																																																
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)																																																																
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む)。	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP																																																																
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・排水用/ホッパー付 被覆鋼管																																																																
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP																																																																
共通	耐火性能を要求される箇所																																																																
通気配管	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VVP ・SGP (白)																																																																
その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																

環境配慮 グリーン 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工種編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。																																																																																																																							
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う（下表による） <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </table> 採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフライト、トレモライト） 調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																													
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																							
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による） 測定箇所 ※ 図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定10</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第一部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差・分散顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>メンブレンの直径</td> <td>25 mm</td> <td colspan="2">47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> 報告書の作成（記録する項目） ア 測定結果 イ 測定時間 ウ 測定位置（測定高さとともに図面に記載） エ サンプル条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ マウンティング方法 カ 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ク 周辺地形や構築時の状況を撮影した写真	適用		測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3					○	○	・	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点		○	○	・	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定3	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定4	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	・	測定7	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		○	○	・	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定9	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		・	・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			メンブレンの直径	25 mm	47 mm		試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
適用		測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考																																																																																																																			
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																							
○	○	・	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																																				
○	○	・	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
・	・	・	測定3	処理作業室内	各2点																																																																																																																				
○	・	・	測定4	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																			
○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																			
○	○	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
○	○	・	測定7	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																				
○	○	・	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
・	・	・	測定9	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																				
・	・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5																																																																																																																						
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																								
メンブレンの直径	25 mm	47 mm																																																																																																																							
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																						
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																						
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																								
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																								
計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																								
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																						

4 7μm以上含有吹付け材の撤去（レベル1）	アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> </table> 2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td>・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付配管</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> </table> ※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。 ＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー <pre> (1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査 ↓ 可能性あり・不明 (2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認） ↓ 可能性あり・不明 分析を実施しない場合 → 石綿含有とみなす → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 分析を実施する場合 (3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など ↓ 石綿含有0.1%を超えていると判断 → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 石綿含有0.1%以下と判断 → 石綿使用なし </pre> ＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー 1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて			※ 図示 ・撤去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
		※ 図示 ・撤去範囲すべて																													

＜作業フローチャート＞

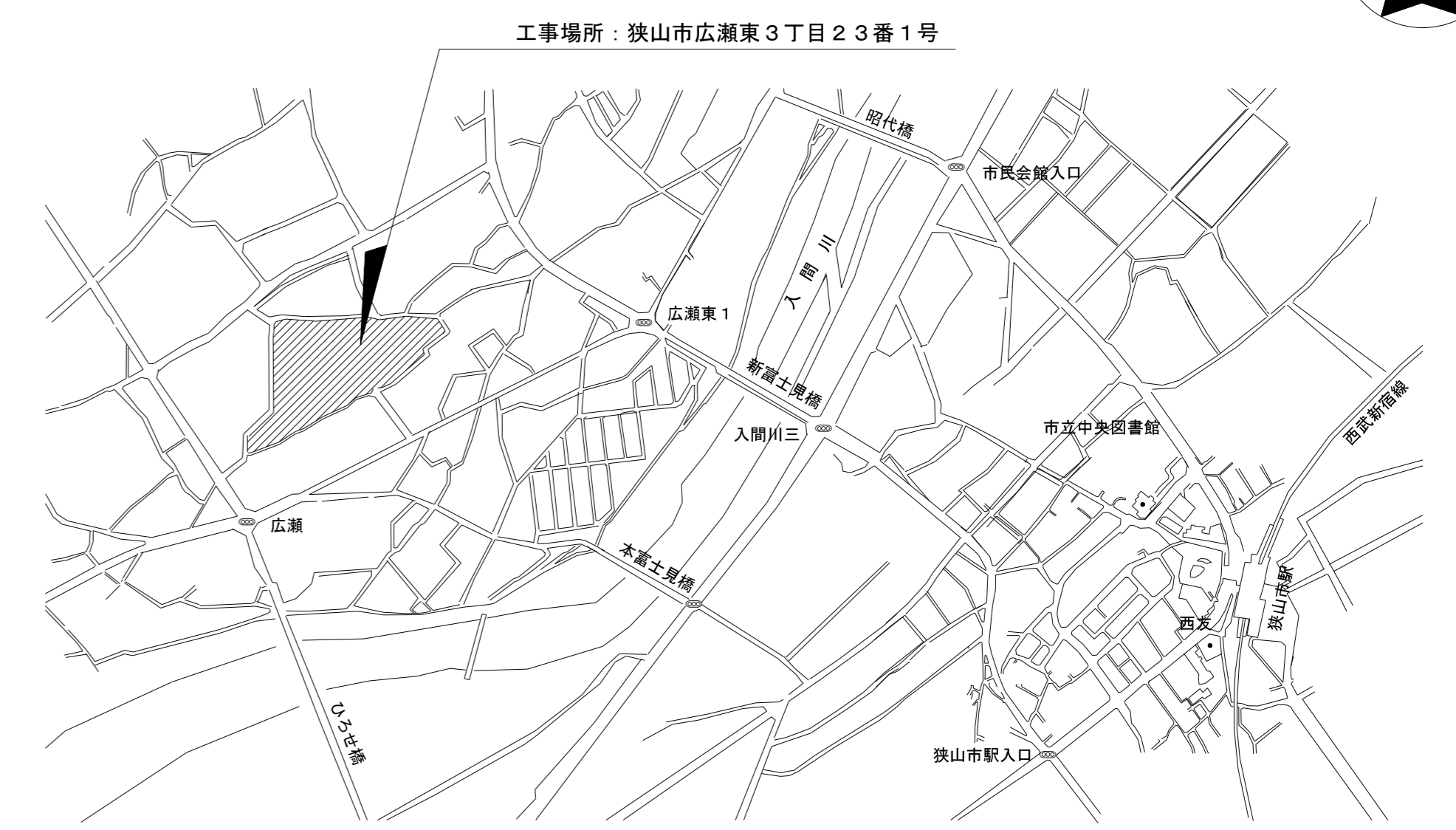
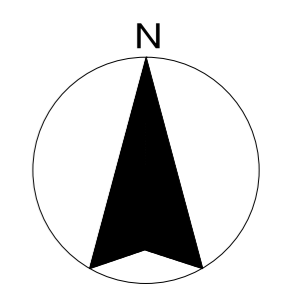
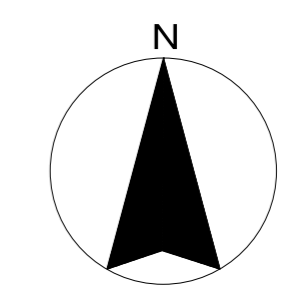
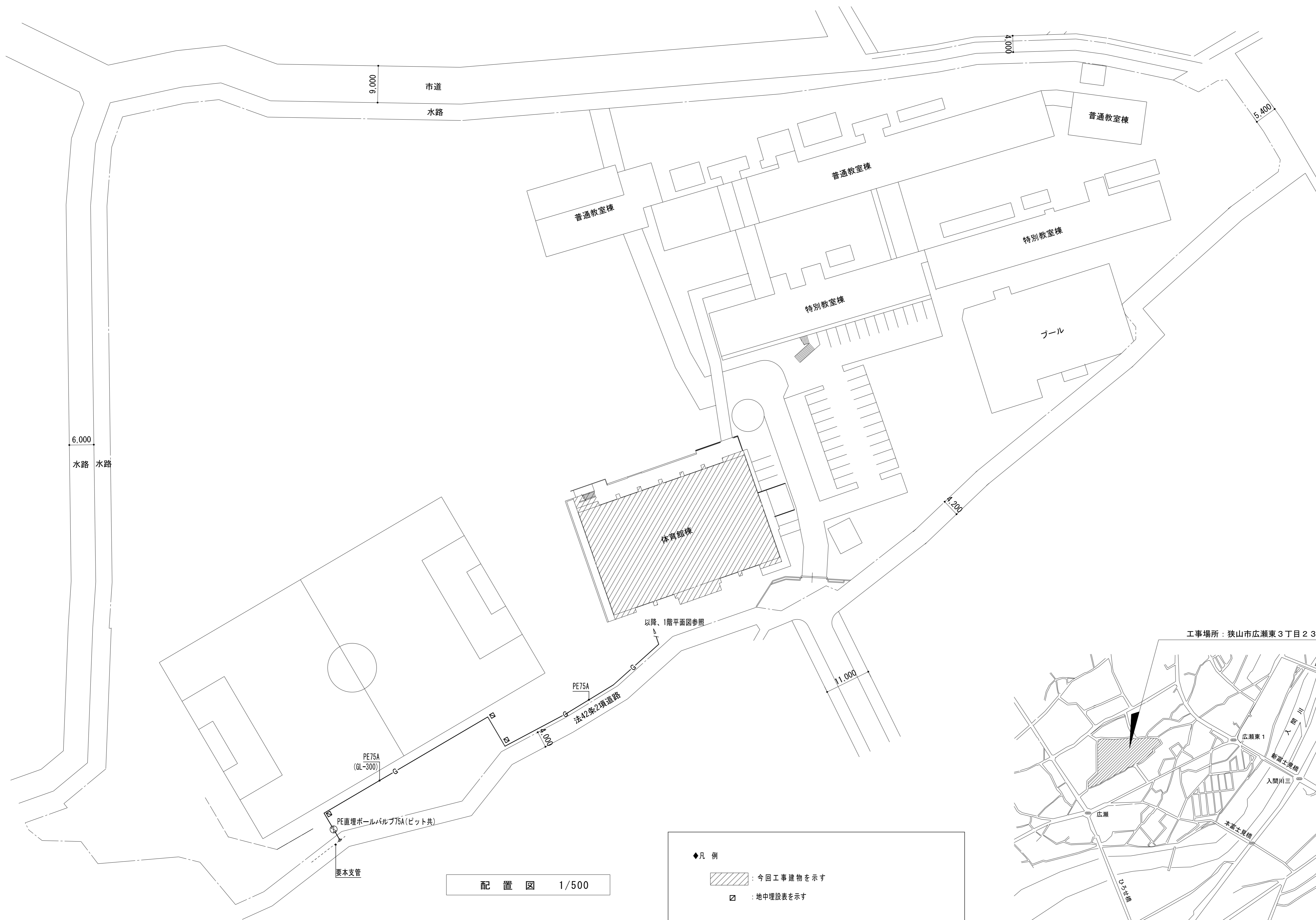
2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法
参考図2 配管フランジパッキンの除去方法
参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法



工事場所：狭山市広瀬東3丁目23番1号

案内図

配置図 1/500

◆凡例

- : 今回工事建物を示す
- : 地中埋設表を示す

◆特記事項

都市ガス工事は敷地内PEバルブより本工事とし、引込は武州ガス工事とする。

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 管理建築士				A1:S=1/500 A3:S=1/1000	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	配置図・案内図
		一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(11)第577号 木村邦房						

機器表

(注) 記載事項の適用について
●印のものを適用し、○印のものは適用しない。

記号	夏季条件	形式	冷媒種類	冷房能力 kW	暖房能力 kW	OP	AF	風量 m³/min	機外静圧 Pa	加湿器		電気仕様		電力消費量 (冷房/暖房) kWh	ガス消費量 (冷房/暖房) kWh	台数	設置場所	備考
										型式	加湿量 kg/h	圧縮機	送風機					
● ガスヒートポンプマルチエアコン																		
【2階 運動場】																		
GP-1	16時	屋外機 P 850	冷暖切替運転形 ●臭気低減	R410A	85.0	95.0	2.12	—	—	—	1	200	0.67+0.76	1.78 / 1.66	80.1 / 80.2	1	地上	
GP-1-1		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 南側アリーナ
GP-1-2		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 南側アリーナ
GP-1-3		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 南側アリーナ
GP-1-4		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 南側アリーナ
GP-1-5		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 南側アリーナ
GP-2	16時	屋外機 P 850	冷暖切替運転形 ●臭気低減	R410A	85.0	95.0	2.12	—	—	—	1	200	0.67+0.76	1.78 / 1.66	80.1 / 80.2	1	地上	
GP-2-1		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 北側アリーナ
GP-2-2		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 北側アリーナ
GP-2-3		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 北側アリーナ
GP-2-4		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 北側アリーナ
GP-2-5		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ○A ●B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 北側アリーナ
GP-3	16時	屋外機 P 710	冷暖切替運転形 ●臭気低減	R410A	71.0	80.0	2.19	—	—	—	1	200	0.53+0.61	1.37 / 0.701	64.1 / 64.5	1	地上	
GP-3-1		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ●A ○B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 東側アリーナ
GP-3-2		室内機 P 140	天吊形 ○1/2/3/7 防球ガード ●A ○B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 東側アリーナ
GP-3-3		室内機 P 140	天吊形 ●1/2/3/7 防球ガード ●A ○B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 東側アリーナ
GP-3-4		室内機 P 140	天吊形 ●1/2/3/7 防球ガード ●A ○B		14.0	16.0		28.5	PRE	—	—	1	200	0.3	0.127 / 0.182		1	2階 東側アリーナ

共通事項

- 1) 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
- 2) 電源周波数は50Hzとする。
- 3) 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。(R410A)
- 4) 屋外機据付用コンクリート基礎は建築工事とする。
- 5) 冷房能力および暖房能力は、JIS条件時の能力とする。
- 6) マルチ型の室内機には分岐管を付属とする。
- 7) 冷房運転外気条件
夏期 9時：31.8℃(DB)、66.7%(RH) 12時：35.8℃(DB)、52.5%(RH)
14時：37.1℃(DB)、47.1%(RH) 16時：36.9℃(DB)、47.4%(RH)
冬期 0.7℃(DB)、48.9%(RH)
- 8) 機器の振れ止めを取る。
- 9) リモコンは鍵付鋼板製ボックス内に設置すること。

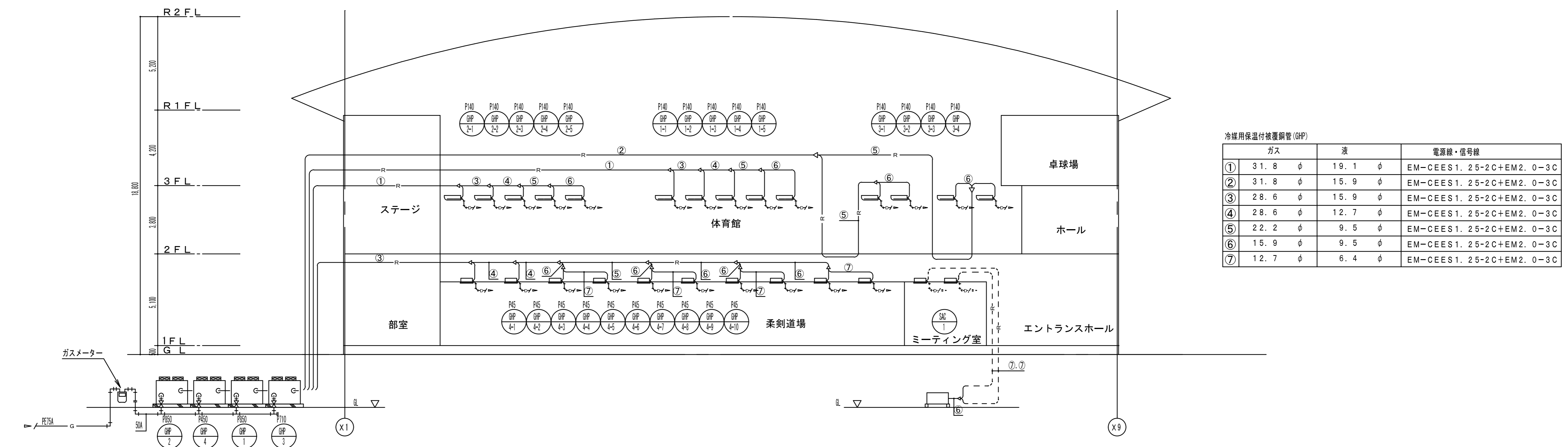
記号	夏季条件	形式	冷媒種類	冷房能力 kW	暖房能力 kW	OP	AF	風量 m³/min	機外静圧 Pa	加湿器		電気仕様		電力消費量 (冷房/暖房) kWh	ガス消費量 (冷房/暖房) kWh	台数	設置場所	備考
										型式	加湿量 kg/h	圧縮機	送風機					
● ガスヒートポンプマルチエアコン																		
【1階 柔剣道場】																		
GP-4	12時	屋外機 P 450	冷暖切替運転形 ●臭気低減	R410A	45.0	50.0	2.09	—	—	—	1	200	0.29+0.24	0.649 / 0.470	37.6 / 34.8	1	地上	
GP-4-1		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-2		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-3		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-4		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-5		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-6		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-7		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-8		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-9		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
GP-4-10		室内機 P 45	4方向カセット形 ●1/2/3/7 ●化粧なし		4.5	5.0		13	PRE	—	—	1	200	0.053	0.037 / 0.033		1	1階 柔剣道場
		リモコン														2	1階	
		リモコン														3	2階	

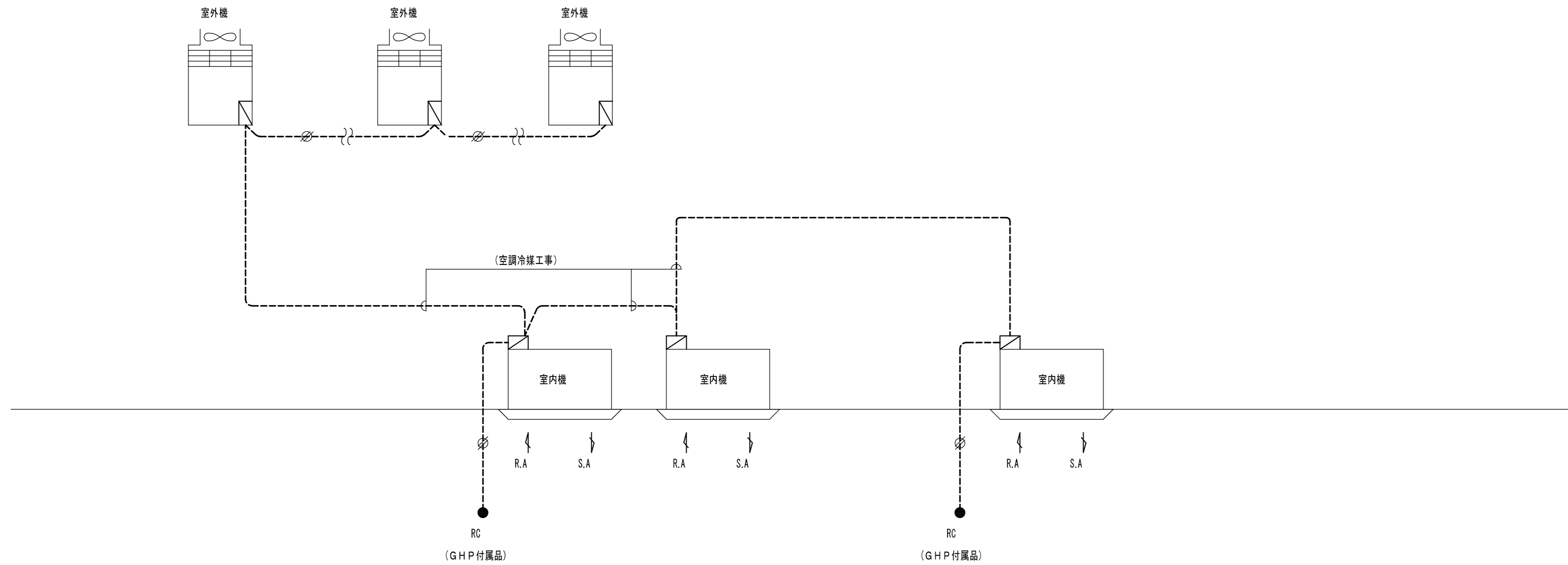
記号	形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	風量 m³/min	機外静圧 Pa	OP	AF	加湿器		電動機		台数	設置場所	備考		
								型式	加湿量 kg/h	φ	V				圧縮機	送風機
● 空気熱源セパレートエアコン																
SAC-1	冷暖切替運転形 P112 屋外機												地上			
	4方向カセット形 P56x2 室内機	10.0	11.2	14x2	—	PRE	—	—	3	200			1階 ミーティング室	更新		

共通事項

- 1) 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
- 2) 電源周波数は50Hzとする。
- 3) 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。(R32)
- 4) 圧縮機の容量制御はインバータ方式とする。
- 5) 冷房能力および暖房能力は、JIS条件時の能力とする。
- 6) 冷房運転外気条件
夏期 9時：31.8℃(DB)、66.7%(RH) 12時：35.8℃(DB)、52.5%(RH)
14時：37.1℃(DB)、47.1%(RH) 16時：36.9℃(DB)、47.4%(RH)
冬期 0.7℃(DB)、48.9%(RH)

系統図





制 御 内 容

(エアコン)

- 1. 装置付属品の手元リモコン (RC) により個別室内機の運転管理を行う。

(注記)

- 1. 室内・外機渡り工事配線は冷媒管付帯工事とする。
- 2. RC、CRCはメーカー付属品とする。

- /---/--- : AC 200V 又は 100V 電源線を示す。
- /--- : シールドケーブルを示す。// は芯数を示す。
- ☒ : 自動制御盤内取付機器を示す。
- ☒ : 警報操作盤内取付機器を示す。
- ☒ : 空調設備機側盤を示す。
- ☒ : 別途動力盤を示す。

記号	機器名称	備 考
●	ガスヒートポンプエアコン用リモコン	設備機器附属品

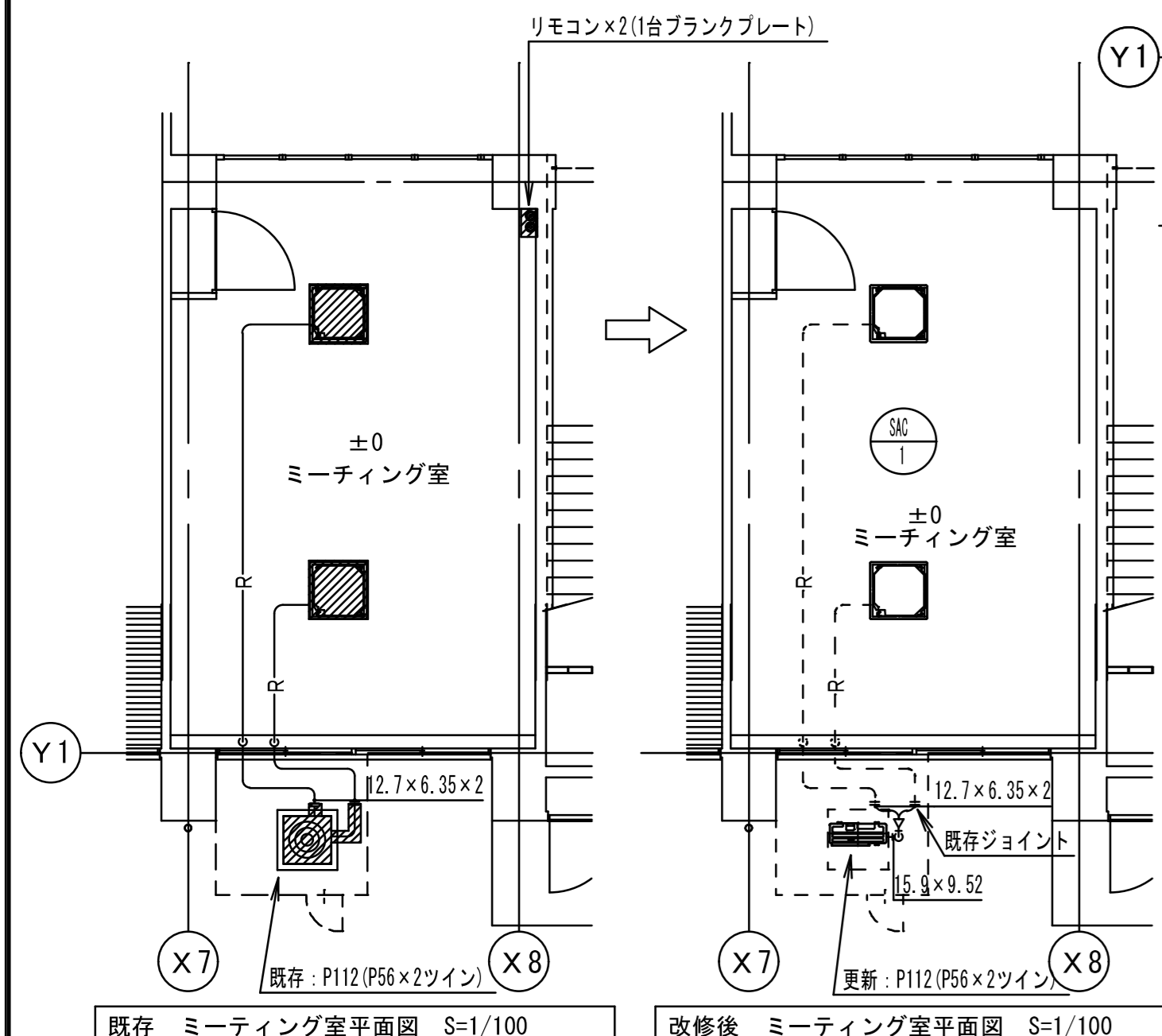
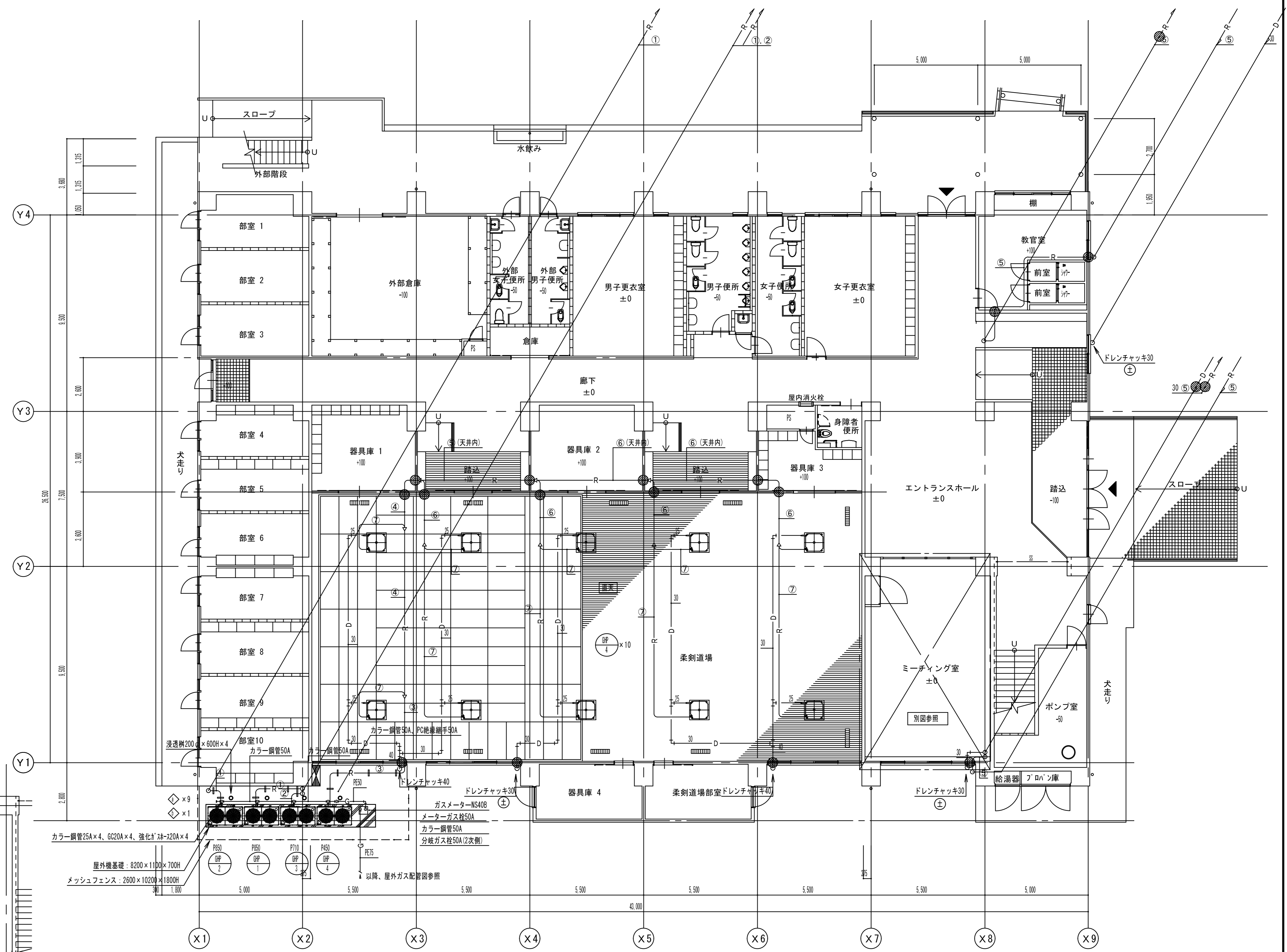
(溶融亜鉛メッキ仕上げ)

既製品基礎150-150-100H

記号	L	H	個数	仕様
◇	300	300	9	L-40-40-3.2 t
◇	500	300	1	L-40-40-3.2 t
◇	800	300	-	L-40-40-3.2 t

※支持間隔は1.5m以下とする。

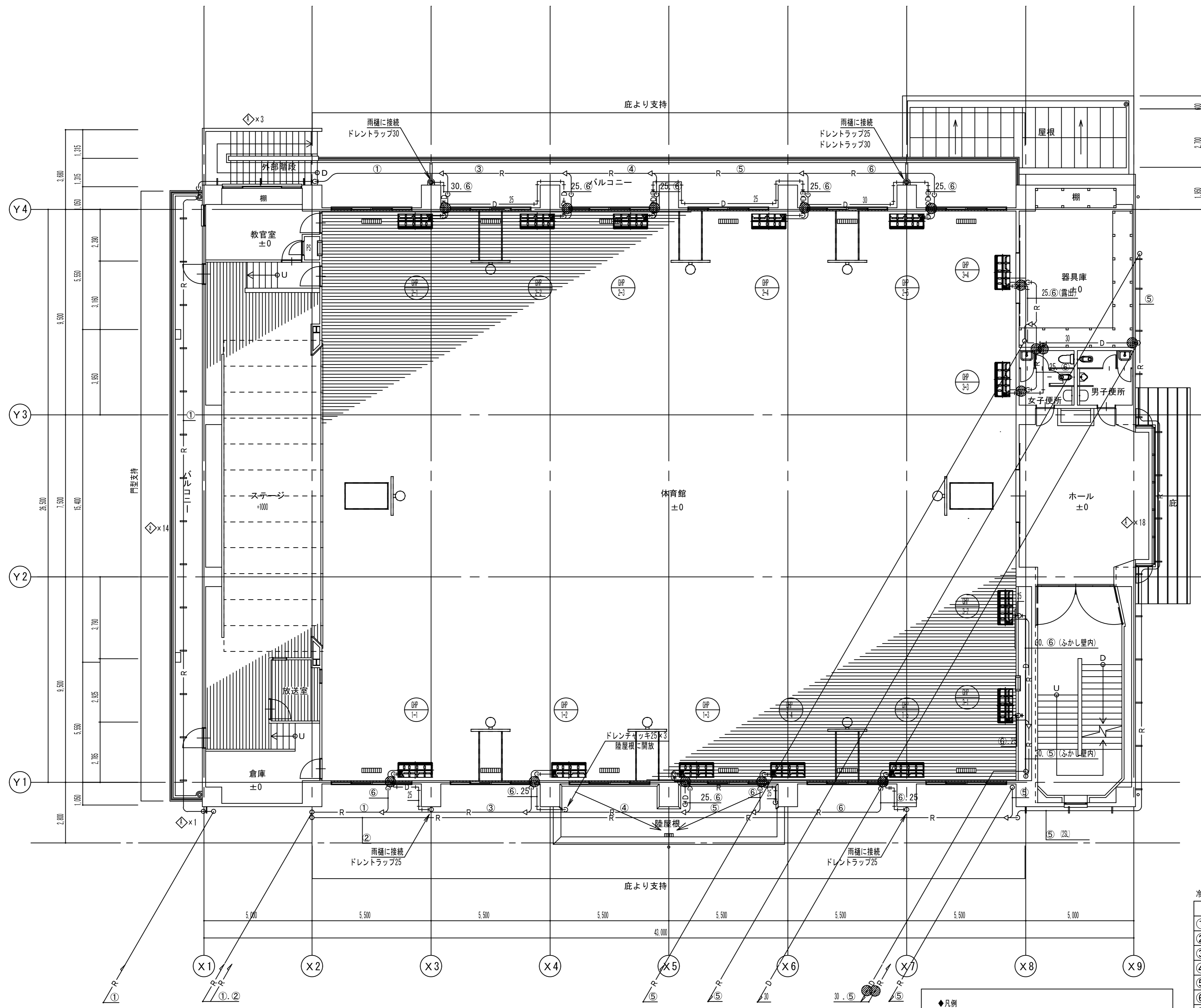
配管用架台参考図 N.S



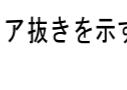
- ◆凡例
- 破線細線は既存を示す
 - ▨ 撤去を示す。
 - 壁コア抜きを示す。
- ◆特記事項
- SAC-1の信号線は既存に再接続のこと。
 - GHP屋外機用ドレンは浸透樹200φ-600H(樹脂系)に放流のこと
 - 柔剣道場は直天のため冷媒管、ドレン管は全て露出とする。

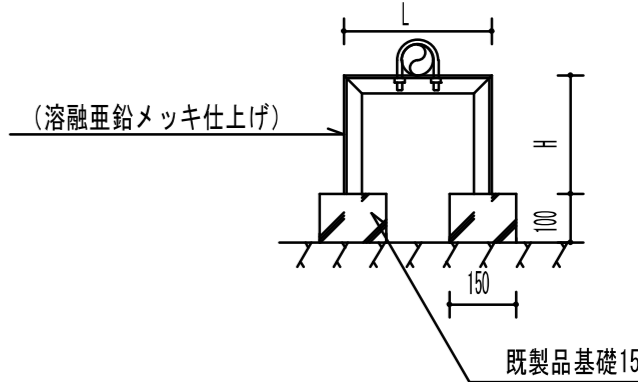
冷媒用保温付被覆鋼管(GHP)

	ガス	液	電源線・信号線
①	31.8 φ	19.1 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
②	31.8 φ	15.9 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
③	28.6 φ	15.9 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
④	28.6 φ	12.7 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
⑤	22.2 φ	9.5 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
⑥	15.9 φ	9.5 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C
⑦	12.7 φ	6.4 φ	EM-CEES1. 25-2C+EM2. 0-3C



2階平面図 1/100

- ◆凡例
 壁コア抜きを示す。
 ◆特記事項
 アリーナ内に露出する冷媒及びドレン管はポール保護を施すこと。

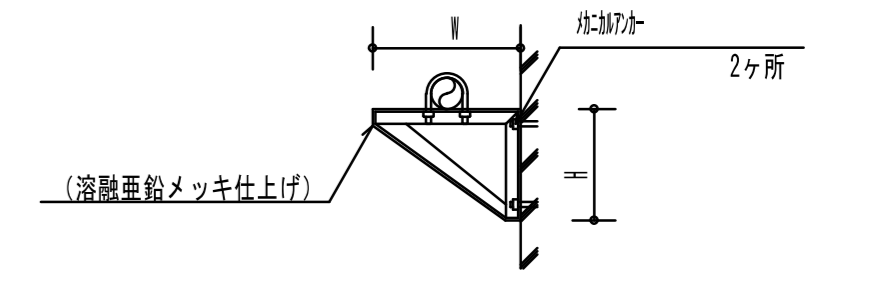


配管架台リスト

記号	L	H	個数	仕様
◇	300	300	14	L-40-40-3.2 t
◇	500	300	-	L-40-40-3.2 t
◇	800	300	-	L-40-40-3.2 t

※支持間隔は1.5mとする。

配管架台要領図 N.S



配管支持金物リスト

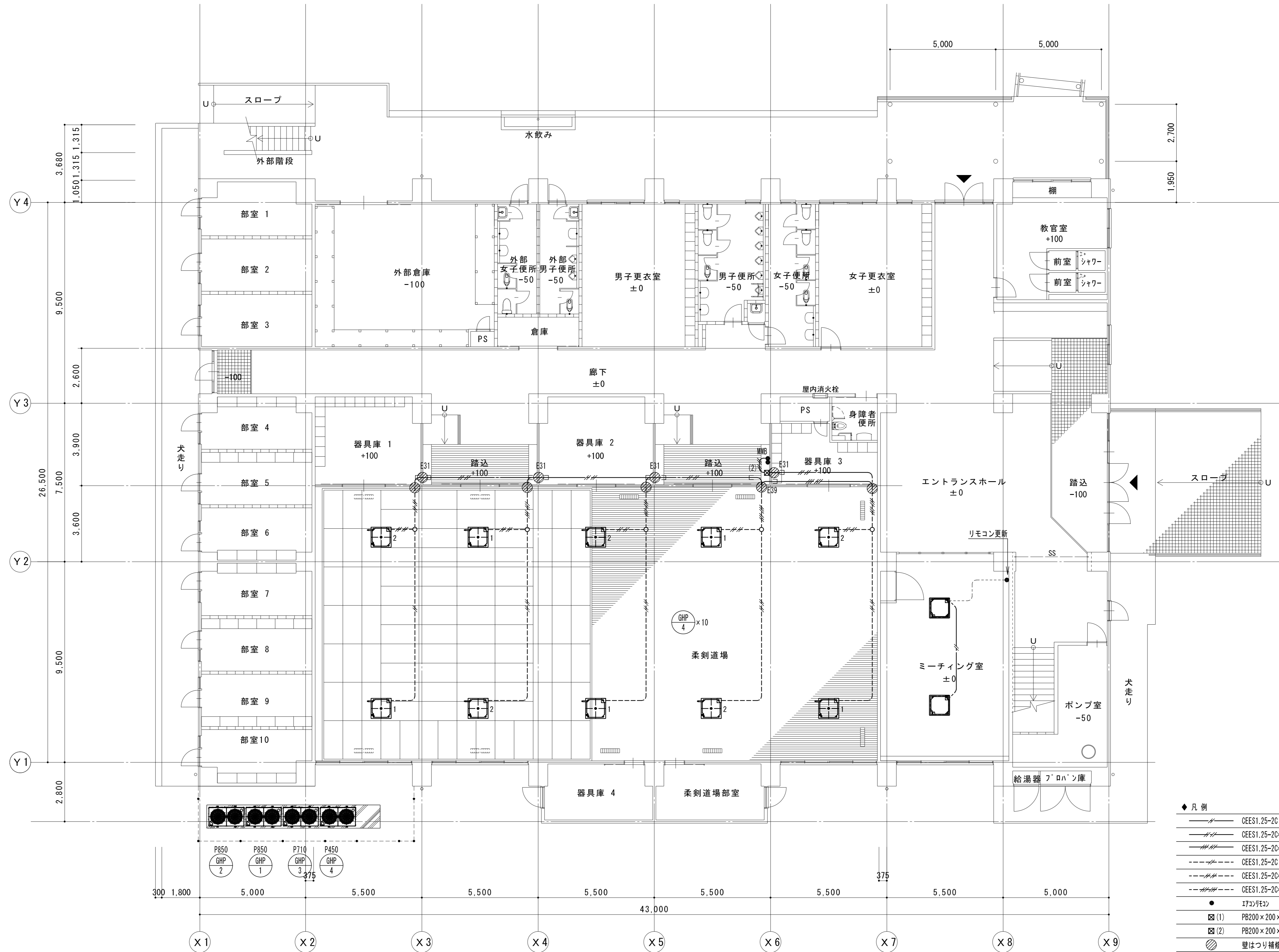
記号	W	H	個数	仕様
◇	300	300	22	山形鋼40-40-3 t
◇	500	500	-	山形鋼50-50-6 t

※支持間隔は2mとする。

配管支持金物 N.S

冷媒用保温付被覆銅管(GHP)

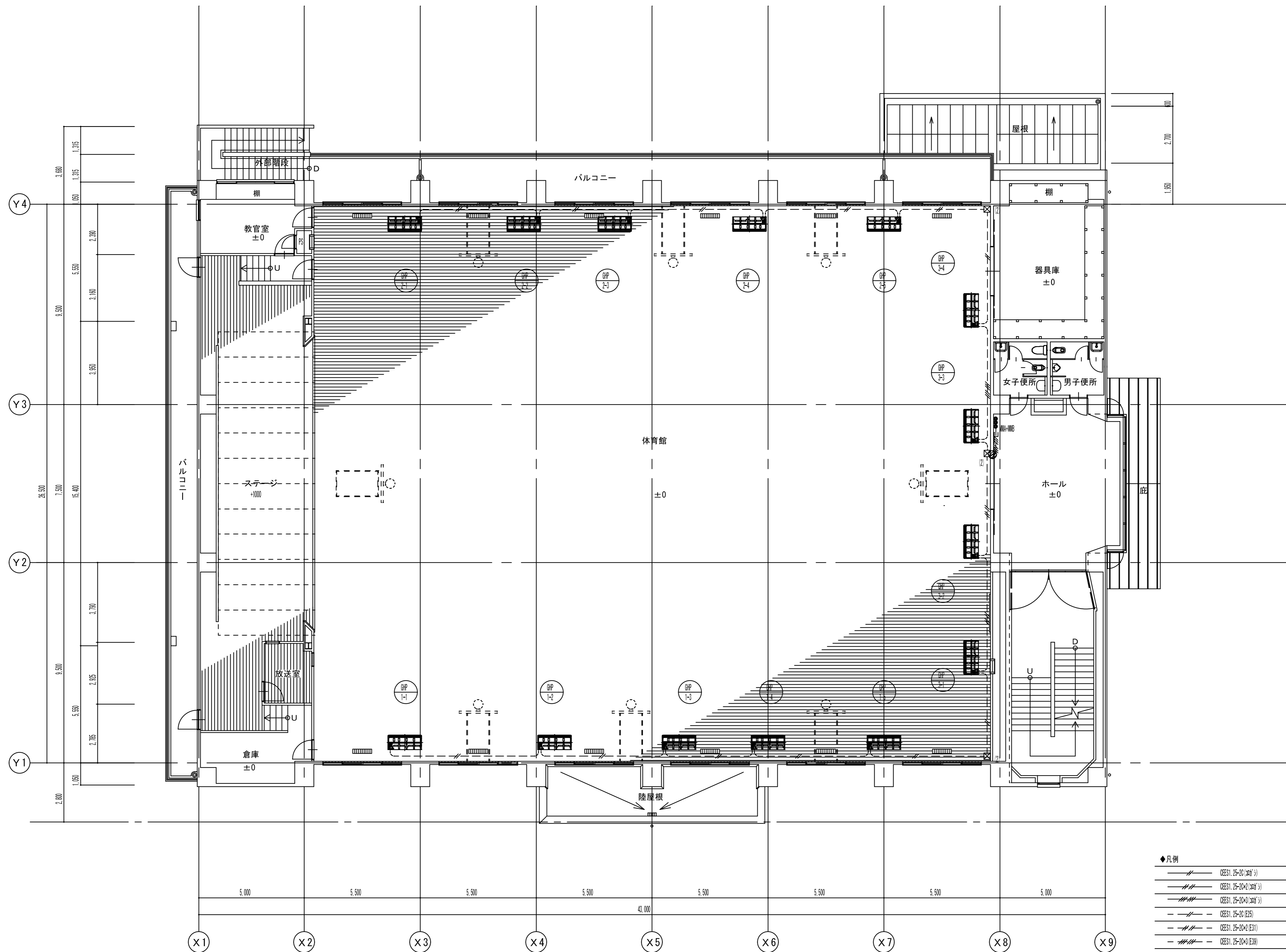
	ガス	液	信号線
①	31.8 φ	19.1 φ	CEES1. 2.5-2C
②	31.8 φ	15.9 φ	CEES1. 2.5-2C
③	28.6 φ	15.9 φ	CEES1. 2.5-2C
④	28.6 φ	12.7 φ	CEES1. 2.5-2C
⑤	22.2 φ	9.5 φ	CEES1. 2.5-2C
⑥	15.9 φ	9.5 φ	CEES1. 2.5-2C
⑦	12.7 φ	6.4 φ	CEES1. 2.5-2C



- ◆ 凡例
- CEES1.25-20 (30kg)
 - CEES1.25-20*2 (30kg)
 - CEES1.25-20*3 (30kg)
 - CEES1.25-20 (E25)
 - CEES1.25-20*2 (E31)
 - CEES1.25-20*3 (E39)
 - 177(FE3)
 - ☒ (1) PB200×200×200 SUSNP
 - ☒ (2) PB200×200×200
 - ⊗ 壁はつり補修を示す

1階平面図 1/100

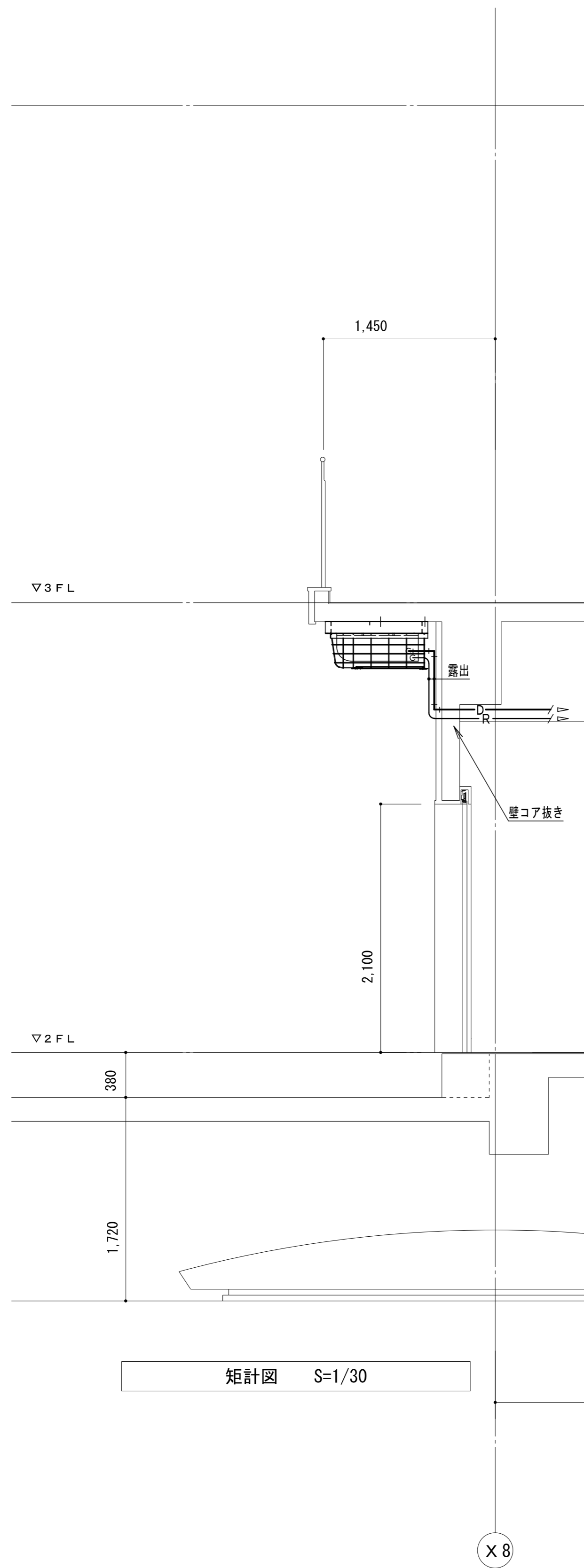
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	☒	☒	☒	A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	自動制御設備 1階平面図	M-09



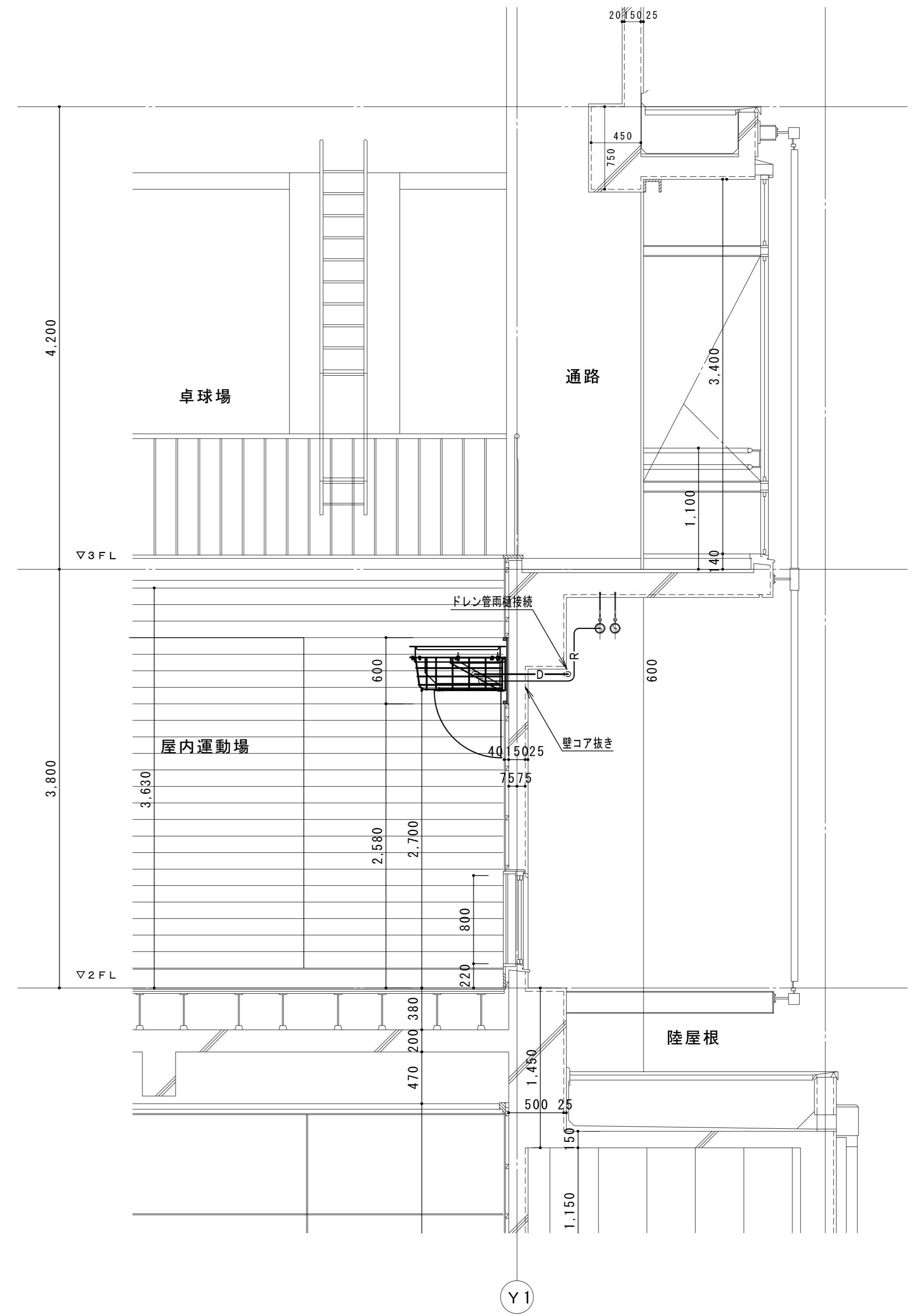
2階平面図 1/100

- ◆凡例
- (CES) 25-20 (44%)
 - (CES) 25-20 (2) (44%)
 - (CES) 25-20 (3) (44%)
 - (CES) 25-20 (E25)
 - (CES) 25-20 (E31)
 - (CES) 25-20 (E39)
 - 170/170
 - ☒ (1) PB200 × 200 × 200 SUSWP
 - ☒ (2) PB200 × 200 × 200
 - ⊙ 壁はつり補修を示す

摘要	設計年月日	株式会社 金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所	一級建築士	第33287号	埼玉県知事登録(11)第577号 木村邦勝	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	自動制御設備 2階平面図	M-10



矩計図 S=1/30

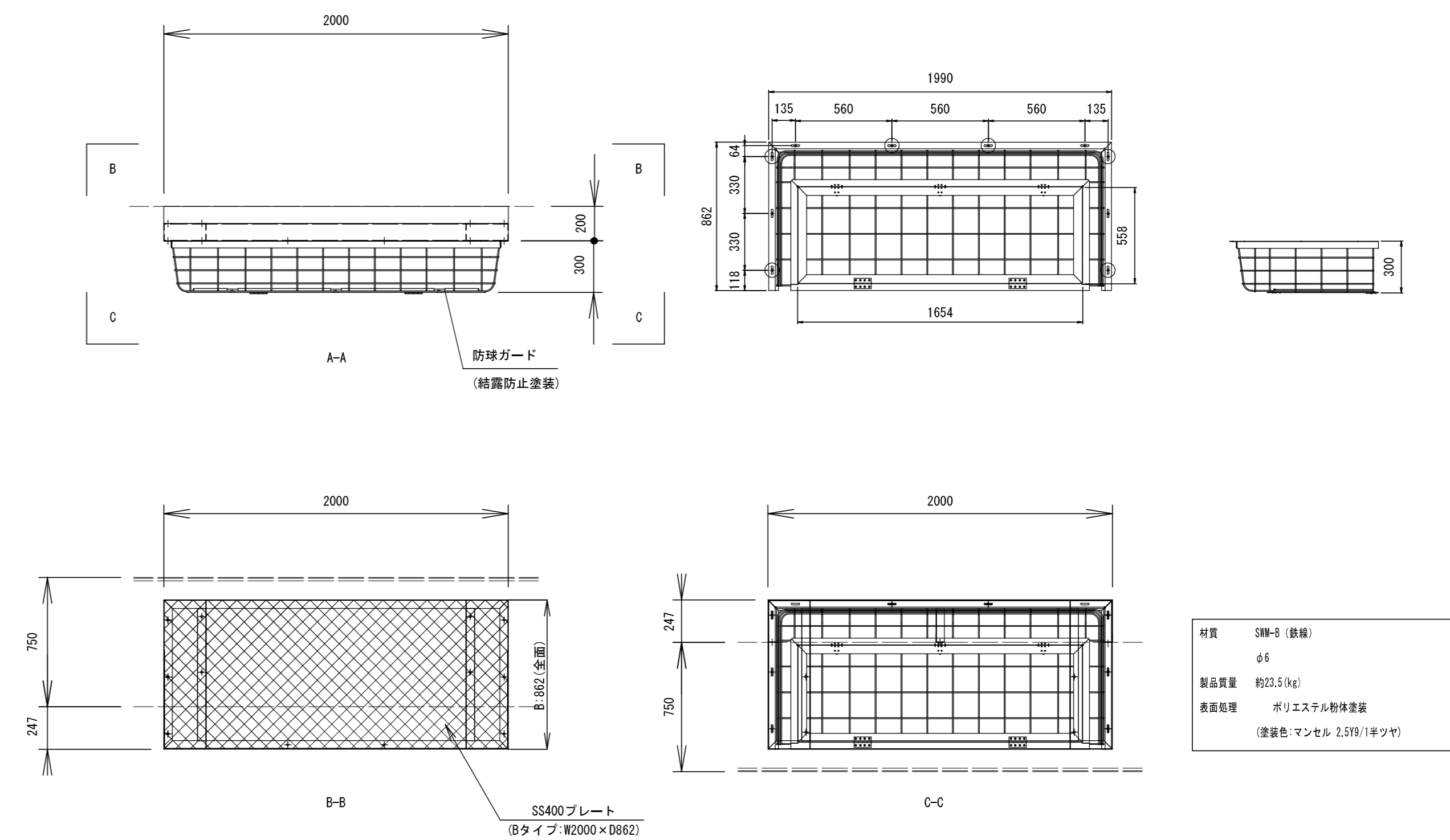
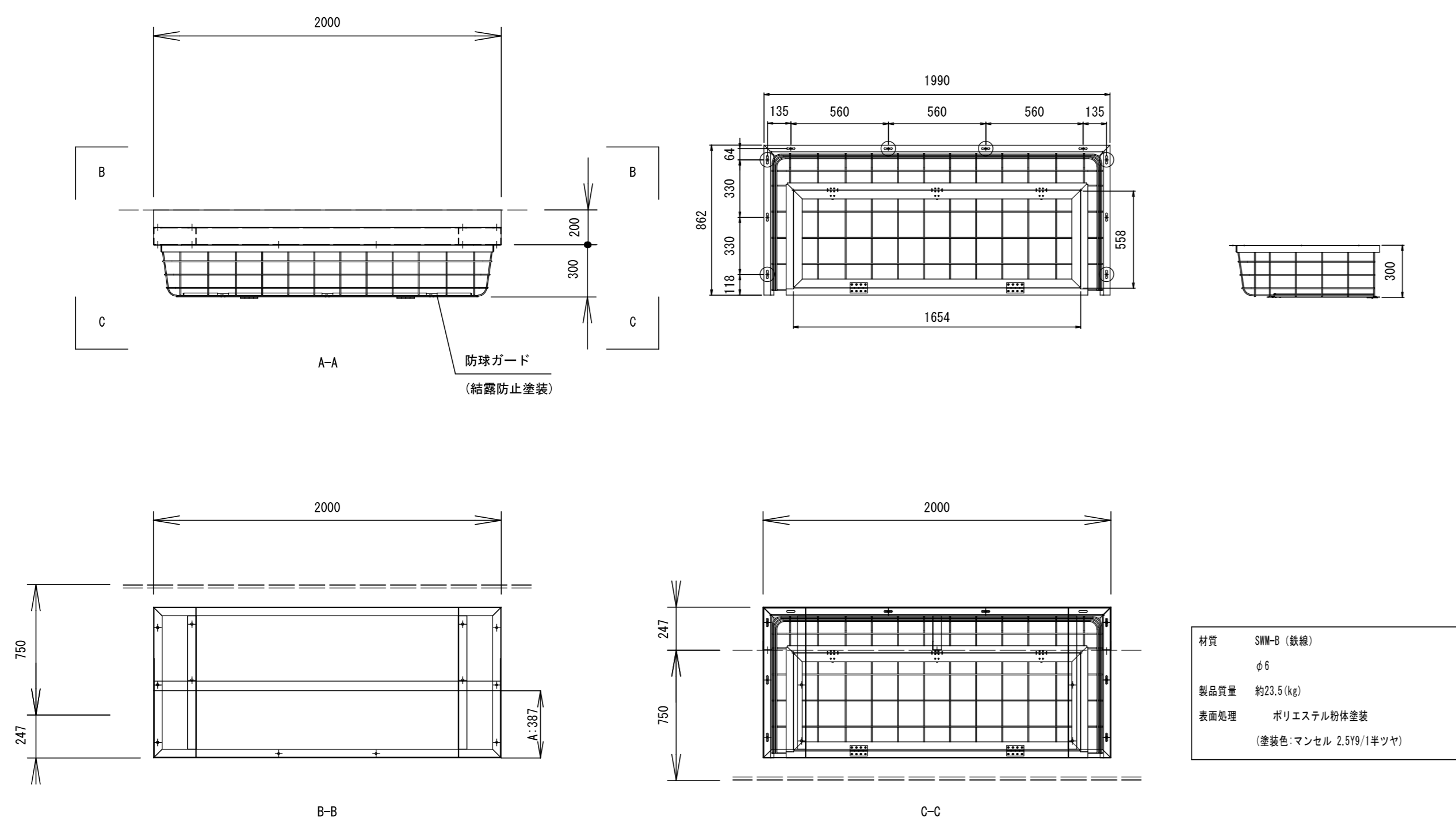


矩計図 S=1/30

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/30 A3:S=1/60	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	機器取付参考図	M-11

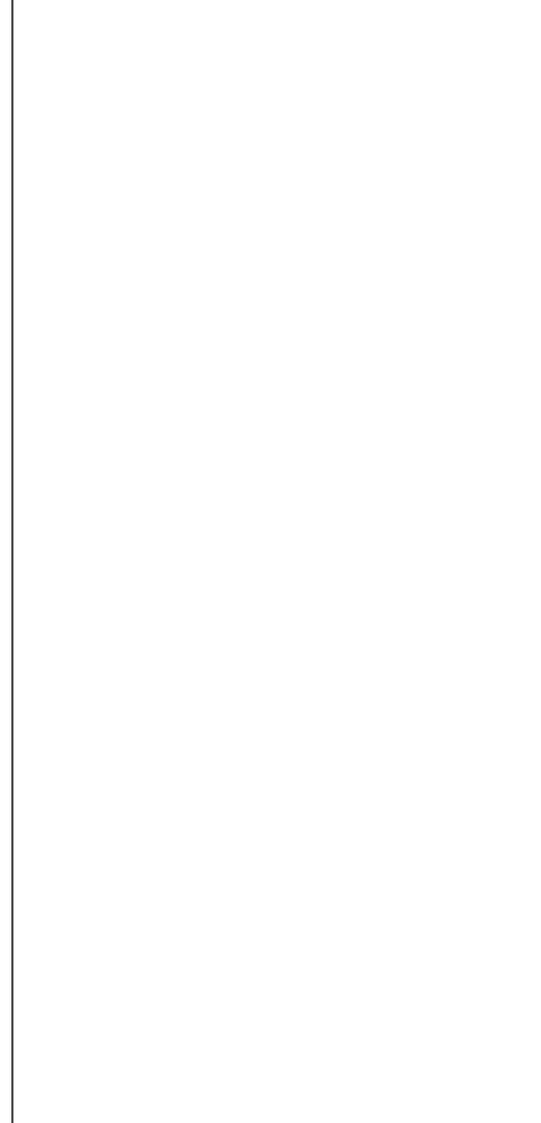
防球ガード(A:機器表参照) 参考図

防球ガード(B:機器表参照) 参考図



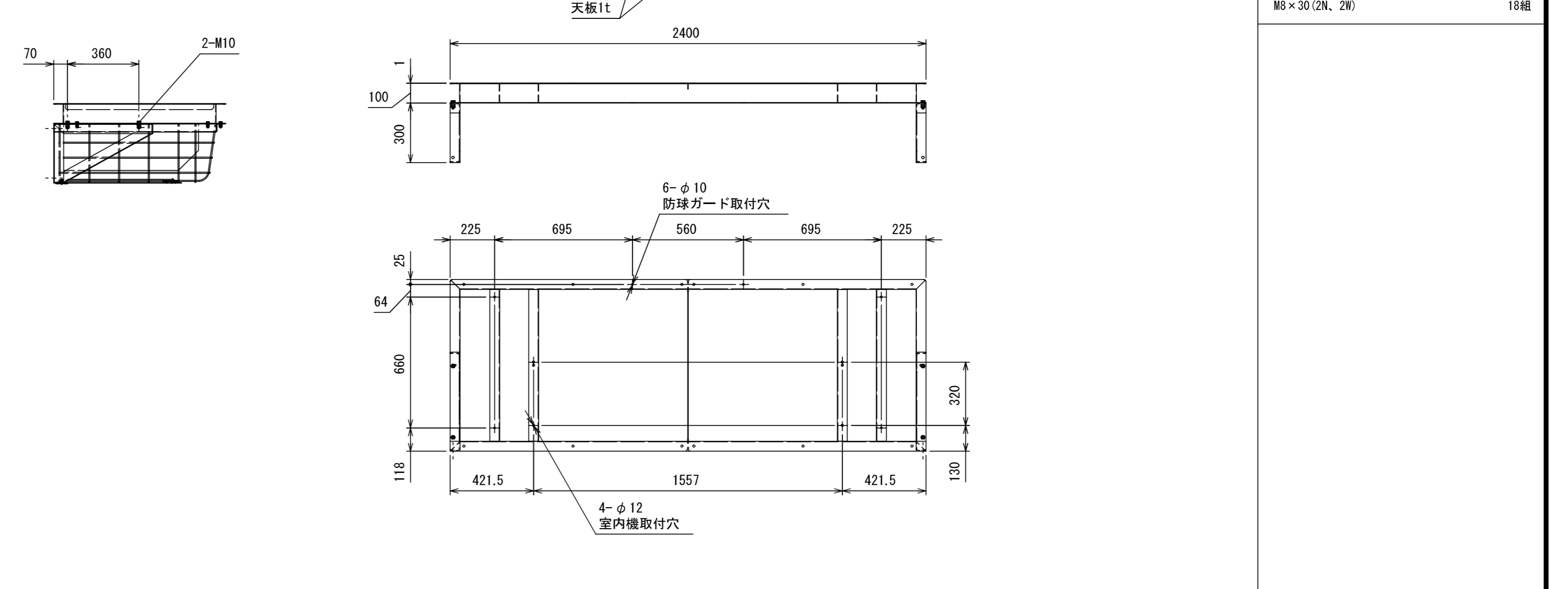
防球ガード架台参考図

仕様	
材質	SS400相当
主部材	[-100×50×2.3t
製品質量	①:約34(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装
付属品	
室内機取付ボルト	SUS304
M10×50L (2N, 1W)	5組
防球ガード取付ボルト	SUS304
M8×25 (2N, 2W)	7組
天板取付ボルト	SUS304
M8×25 (2N, 2W)	10組



防球ガード架台参考図

仕様	
材質	SS400相当
主部材	[-100×50×12.3
製品質量	①:約62(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装 (塗装色:白系 マンセル2.5Y9/1半ツヤ)
付属品	
室内機取付ボルト	SUS304
M10×50 (2N, 1W)	5組
防球ガード取付ボルト	SUS304
M8×30 (2N, 2W)	7組
壁付け架台三角ブラケット取付ボルト	SUS304
M10×30 (2N, 2W)	5組
天板取付ボルト	SUS304
M8×30 (2N, 2W)	18組



電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1.1 工事名 狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事
- 1.2 工事場所 狭山市広瀬東3丁目23番地1号
- 1.3 工期 契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。
- 1.4 工事科目 (O印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none">電灯設備動力設備電熱設備富保護設備受変電設備電力貯蔵設備発電設備構内情報通信網設備構内交換設備情報表示設備映像・音響設備拡声設備 (非常放送設備)誘導支援・呼出し設備	<ul style="list-style-type: none">テレビ共同受信設備テレビ電波障害防除設備監視カメラ設備駐車場管制設備防火・入退室管理設備自動火災報知設備自動閉鎖設備ガス漏れ火災警報設備電話配管設備中央監視制御設備医療関係設備昇降機設備
---	--

- 1.5 指定部分 O無・有(工期:令和年月日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
- 1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所 の設置、資機材の搬入又は仮設工事が開始されるまで) の期間・令和年月日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 1.7 建物概要

- 1.8 工事概要
体育館アリーナ及び柔剣道場にGHP個別分散空調の新設並びにミーティングルーム既存エアコンの更新に伴う幹線・電源供給工事。

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事情編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事情編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工事情編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、O印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づき特定調達品目該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号)に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる。 ・できない
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模) ※設けない
7 保 険	受注者は工事的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果等を監督員に提出する。
9 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
10 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (鋼屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- 1 1 金属電線管の塗装
露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
- 1 2 鍵
錠等の鍵は、既存錠及び別途工事の錠との整合を極力図るものとする。
- 1 3 地中電線路

敷き均し土	管 種 別
	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

- 1 4 回路の種別
行先の表示

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

- 1 5 電線の接続
湿気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線ネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- 1 6 電線管の接続
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

- 1 7 接地工事
漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、湿触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・青色帯で区別する。

- 1 8 建設発生土の処理
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

- 1 9 再生砂・再生砕石
再生アスコン使用
再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に ・使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- 2 0 耐震施工
設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

- (1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kg] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 ^(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 ^(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 ^(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

- 【備 考】 (※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤 ・発電装置 (防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2 1 あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2 2 はつり及びあと
施工アンカー打設
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2 3 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について (厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立で、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2 (2) 手すり設置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- 2 4 墜落制止用器具
(フルハーネス型)
※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による
・使用を要しない

- 2 5 アスベスト事前
調査結果の報告
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知らせ又は市長等に報告する。

- 2 6 その他
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。

- (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、O印のついたものを適用する)

項目	特記事項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント (2P15A) は運用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとす。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継棒を使用する。ただし、ボード張り、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルところがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R 1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧空中 負荷開閉器 (PAS) 主 進 断 装 置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA × 台 電灯用 kVA × 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・ 6% ・ 13% kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・ (概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給 (コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)

項目	特記事項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、 ガス漏れ火災警報 設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事情編) による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上~中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000	2,000
コンセント、電話用7フレット、直列ユニット	"	300	400
" (和室)	"	150	200
" (台所)	台上~中心	150	500
防水型コンセント	床下~中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉箱	"	(上端1,900以下) 1,500	(上端1,900以下) 1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン (")	"	1,800	1,800
廊下表示灯 (")	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下) 1,500	2,000

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
- 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

- 第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。
- 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3
・中間処理施設 市 地内、(株)
・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融を含む)
・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)
- 第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
- 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
- 第2条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
- 第3条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
- 第4条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。
- 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
- 第2条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
- 第5条 濁水処理室については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
- 第2条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
- 第3条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

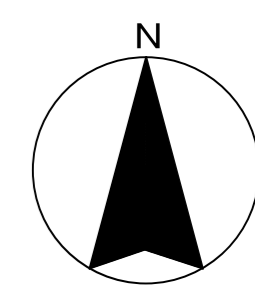
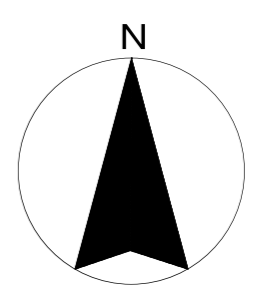
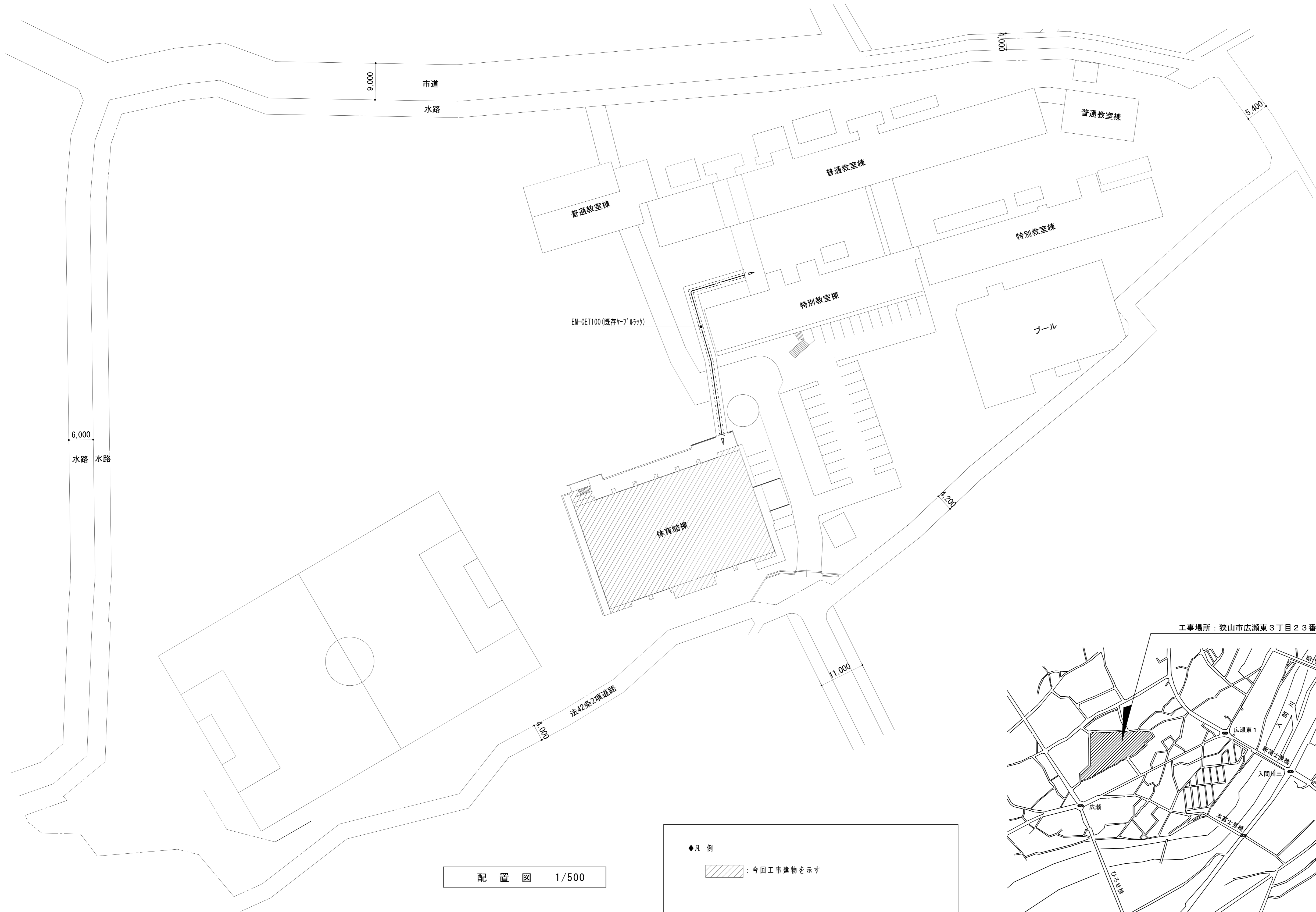
- 第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事 (新設、増設又は更新) において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」 (平成28年2月19日付け国土交通省住宅局建築指導課) による。
- 第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
- 2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
- 3 発注者とは、本工事の発注者をいう。
- 4 受注者とは、本工事の受注者をいう。
- 5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。
- 6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
- 7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
- 第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
- 2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
- 3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
- 4 製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
- 5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
- 第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

工事範囲の主な既設機器メーカー

機器名称	既設機器メーカー名

- 官公庁等打ち合わせ機関
建築：
昇降機：
施設管理者：
電力会社：
電話会社：
ケーブルテレビ会社：
消防本部：
2024.12

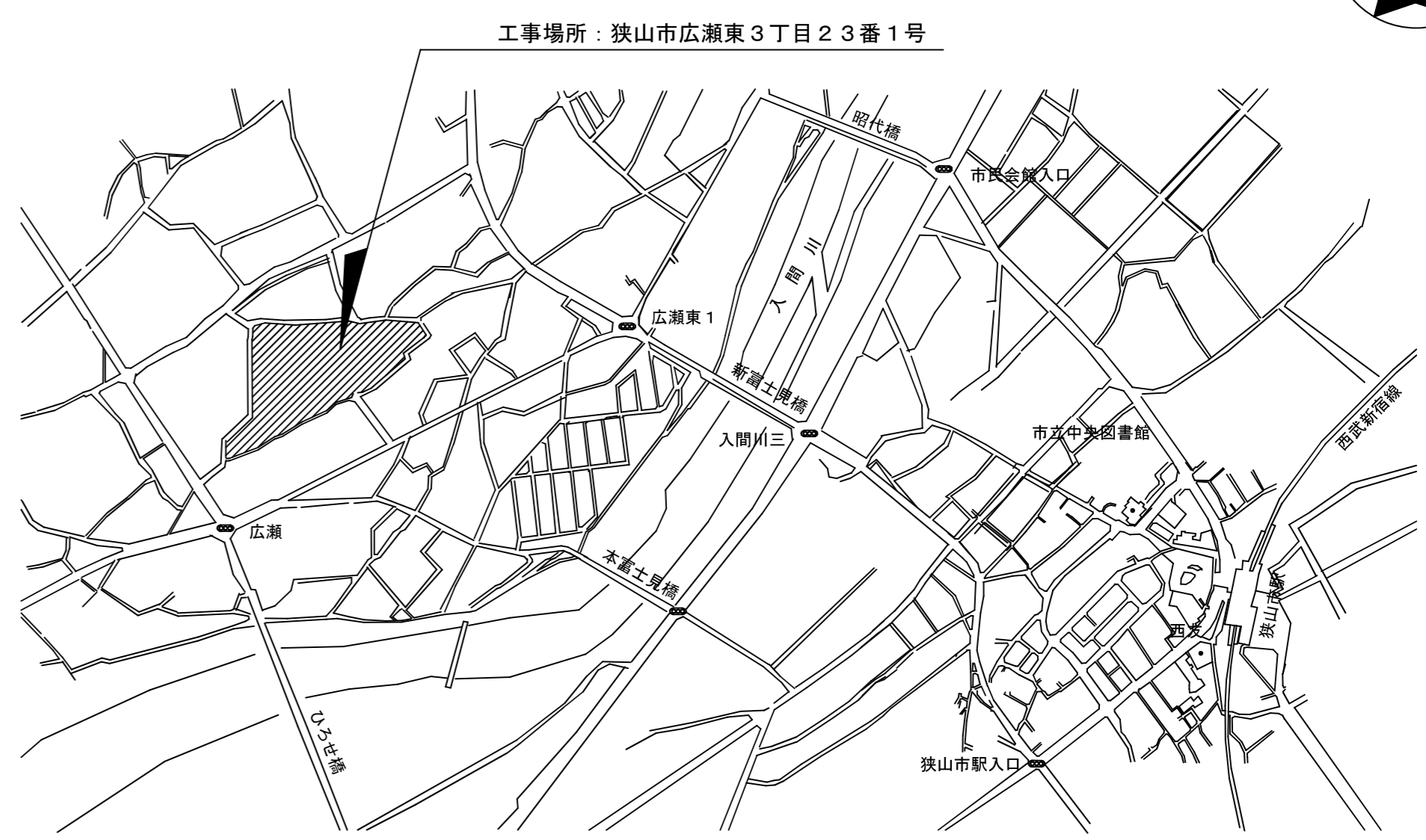
概要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (11) 第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	   A1:S-N.S A3:S-N.S	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	電気設備工事特記仕様書 (1)	E-O1



配置図 1/500

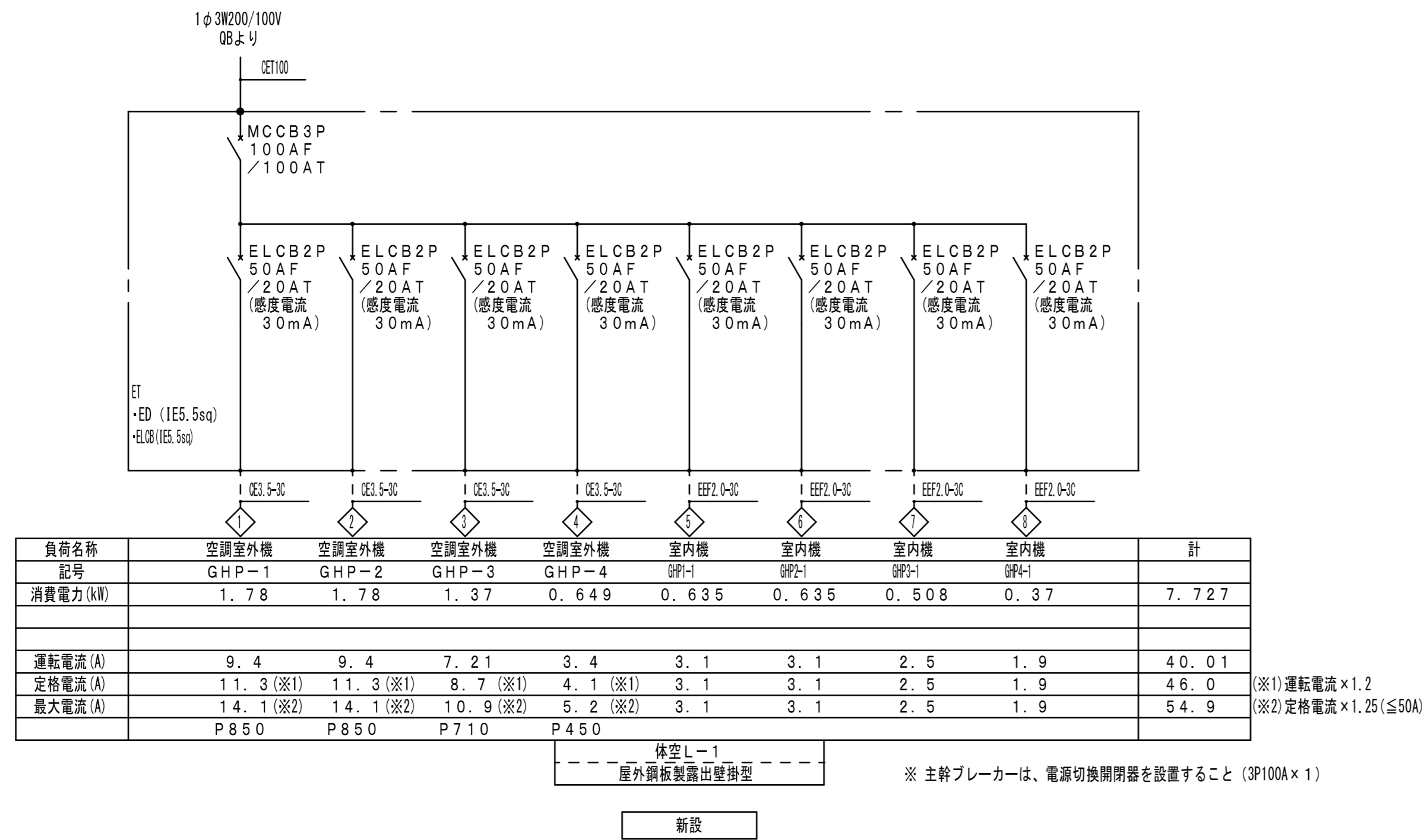
◆凡例

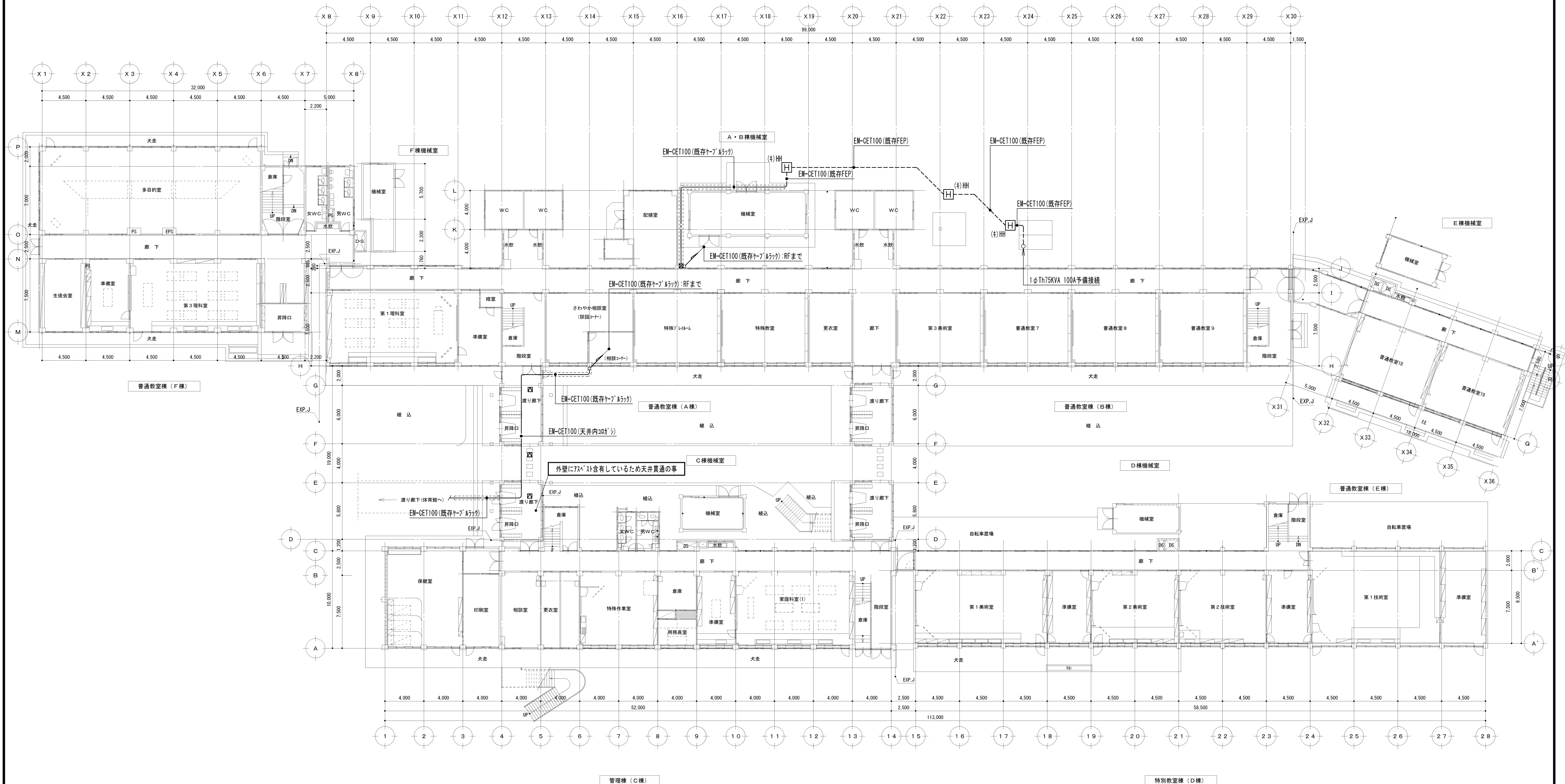
: 今回工事建物を示す



案内図

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(11)第577号 第333287号	木村邦房	A1:S=1/500 A3:S=1/1000	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	配置図・案内図

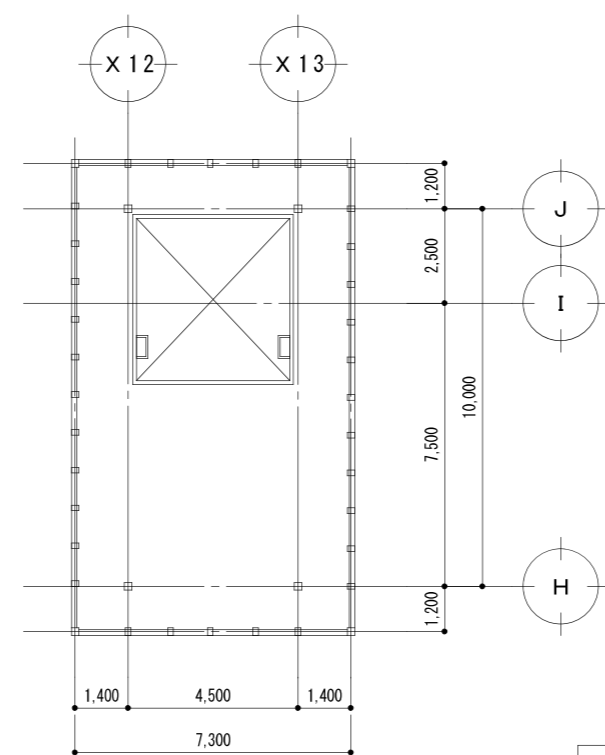




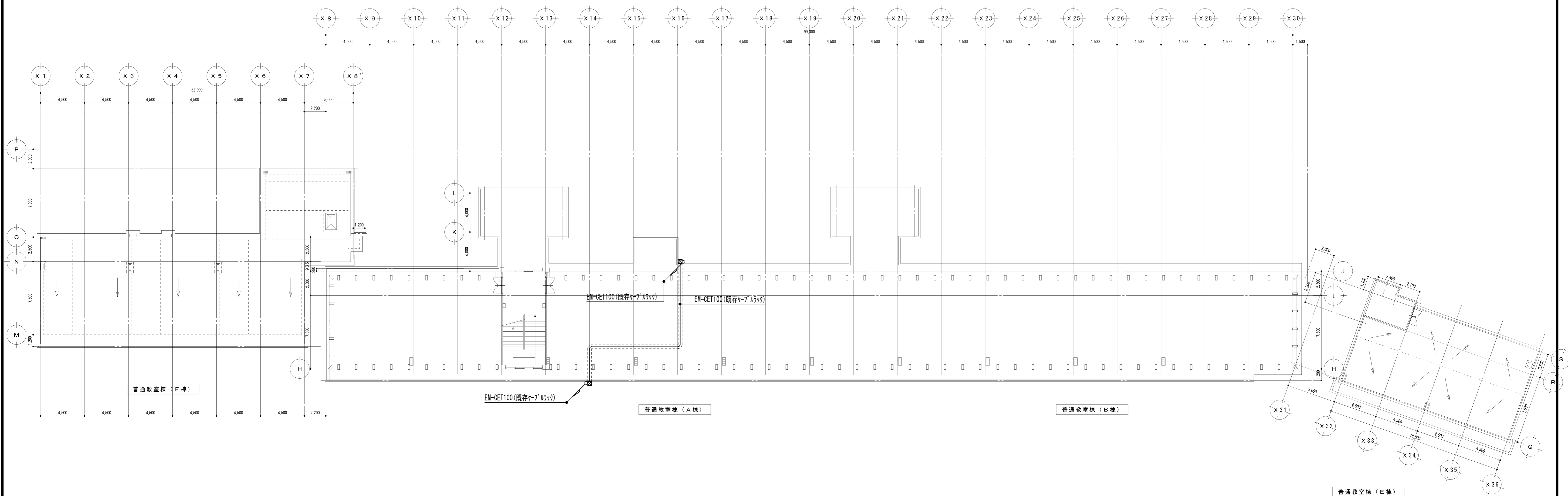
全体1階平面図 (現有) S=1/200

- ◆ 凡例
- Ⓜ (Ⓜ) 既存の設備
 - Ⓜ (Ⓜ) 天井点検口 450×450 (新設)

摘要	設計年月日	株式会社 金子設計 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
						A1:S=1/200 A3:S=1/400	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	校舎棟 幹線動力設備 1階平面図	E-05



PHR階平面図(現有) S=1/200



全体R階平面図(現有) S=1/200

摘要	設計年月日	株式会社金子設計 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
						A1:S=1/200 A3:S=1/400	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	校舎棟 幹線動力設備 R階平面図	E-06

行先	配線	配管	機器接続部
体空L-1~空調室外機GHP-1	EM-CE5.5sq-3C	G36	F38
体空L-1~空調室内機GHP-2	EM-CE5.5sq-3C	G36	F38
体空L-1~空調室内機GHP-3	EM-CE5.5sq-3C	G36	F38
体空L-1~空調室内機GHP-4	EM-CE5.5sq-3C	G36	F38
S-体空(2)~空調室内機(1)	EM-EEF2.0-3C	図示	
S-体空(2)~空調室内機(2)	EM-EEF2.0-3C	図示	
S-体空(2)~空調室内機(3)	EM-EEF2.0-3C	図示	
S-体空(2)~空調室内機(4)	EM-EEF2.0-3C	図示	

※室内機電源は屋外機以降、冷媒共巻きとする。



凡例

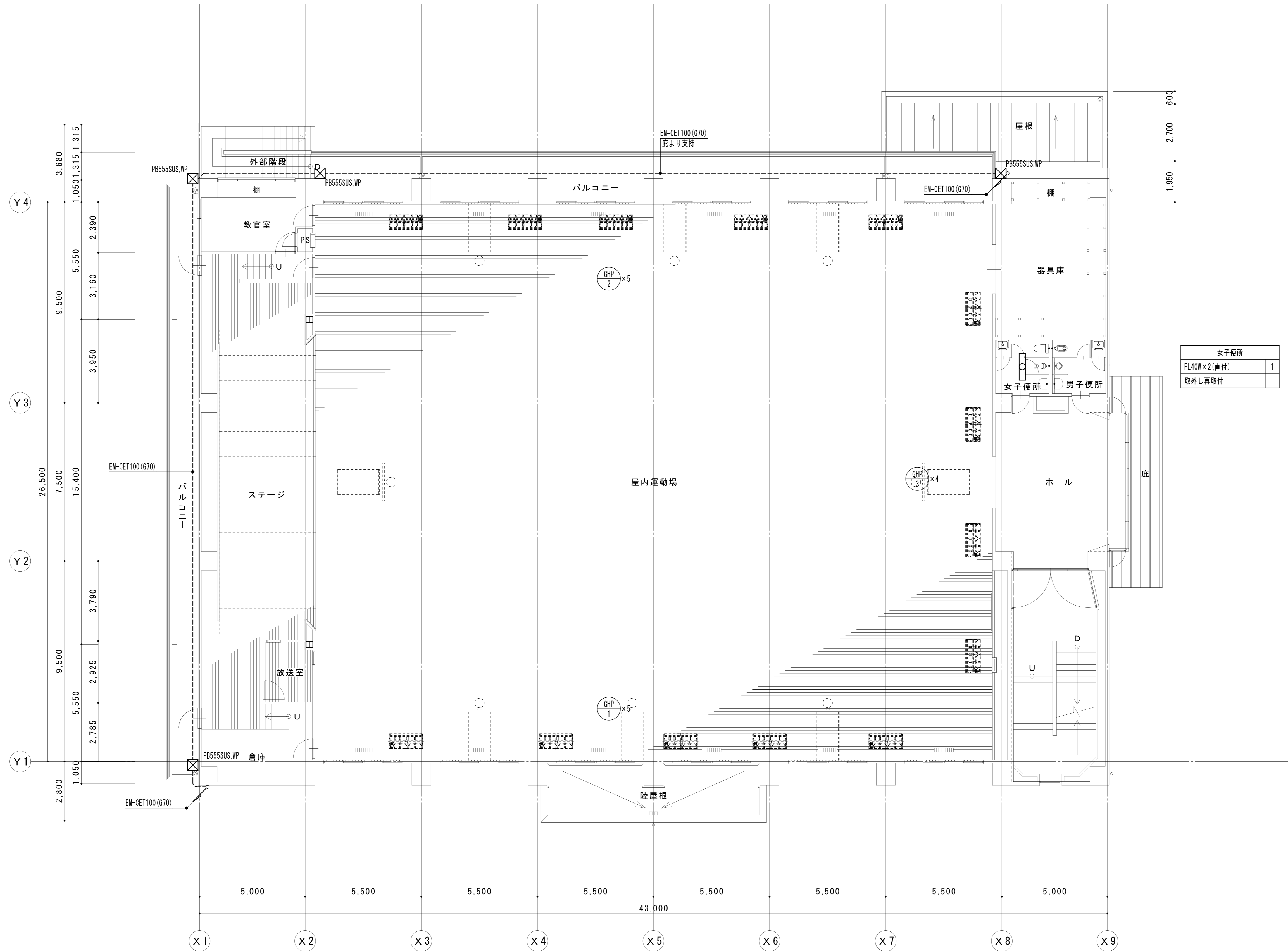
	電灯分電盤
	電灯動力盤
	フルボックス a00×b00×c00 (特記無き場合は150×150×100, WPは溶融亜鉛メッキ, SUSはステン製)
	アウトレットボックス中四角浅型
	コア抜きを示す。

◆凡例

	既存を示す。
	EEF2.0-3C (a00'')

1階平面図 1/100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	空調電源設備 1階平面図	E-07

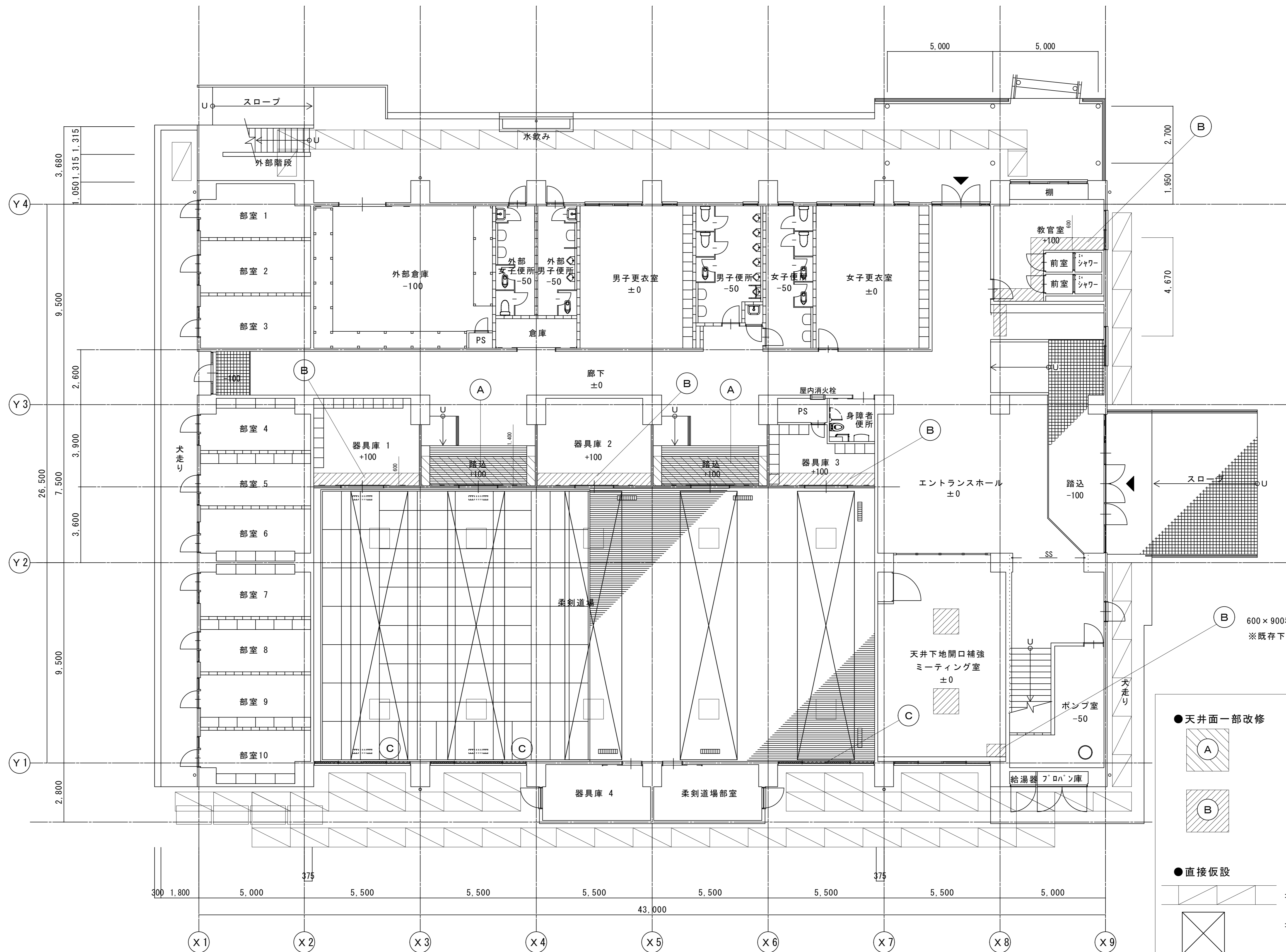


2階平面図 1/100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	空調電源設備 2階平面図	E-08

5 建具 改修 工事	1 改修工法 [5. 1. 3]	<p>建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・7/8寸製建具</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・木製建具</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・7/8寸製建具	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・建具表による		・内部	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・建具表による	・木製建具	・	・建具表による	10 ステンレス製建具 [5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]	<p>性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H.L. 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※H.L. ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 G</td> <td>表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) ・ 接着の程度(・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td>樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF G</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種別(・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ふすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 G	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) ・ 接着の程度(・1類 ・2類)		・天然木化粧合板 G	樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類 ・2類)		・MDF G			11 木製建具 [5. 7. 2~4]	<p>性能値等 [5. 2. 2~5][表5.2.1、2]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>・70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>・100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H.L. 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法 水切り板、ぜん板等 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	・70	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	・100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による	12 建具用金物 [5. 8. 1~3]	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示</p> <p>錠前類 シリンドラ錠錠及びシリンドラ本締まり錠 クローザ類</p>	13 錠 [5. 8. 4]	<p>マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない [5. 8. 4] その他の錠 ※各室3本1組(室名付付き) ・有 錠前 ・無</p>	14 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2、3]	<p>戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.11による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・種類・開閉方式() ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防錆() ・電源() ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.21による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧() ・防錆() ・電源() 引き戸用駆動装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない</p>	15 自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3]	<p>性能 ※[表5.10.1]による</p>	16 重量シャッター [5. 11. 2、3]	<p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度() Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による)</p>	17 軽量シャッター [5. 12. 2~4]	<p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まくさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スリットボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>開閉形式の種類 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5. 12. 2~4] 耐風圧強度() Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置(設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融59%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※A230)</p> <p>スラットの形状 ・インターロックンギ形 ・オーバーラッピング形</p>	18 オーバーヘッドドア [5. 13. 2、3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスチック</td> <td>・125 ・100 ・75 ・50</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3. 7][5. 14. 2~4]</p> <p>・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合) ・A種 ・B種 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ※図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による</p>	セクション材料による区分	風圧力による区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスチック	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	19 ガラス [3. 7][5. 14. 2~4]	<p>呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 シーリングの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による</p>	・160×160	・95					・200×200	・95					20 ガラスブロック [5. 14. 5]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○日射調整フィルム G</td> <td>内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2</td> <td>可視光線透過率: 65%以上</td> </tr> <tr> <td>○低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○衝撃破壊対応ガラス</td> <td>・G1-1</td> <td>・G1-2</td> </tr> <tr> <td>○飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○層間変位破壊対応ガラス</td> <td>・GD-1</td> <td>・GD-2</td> </tr> <tr> <td>○飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759 による 熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要</p>	種類	記号	その他性能等	○日射調整フィルム G	内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2	可視光線透過率: 65%以上	○低放射フィルム	・LE		○衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2	○飛散防止フィルム			○層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2	○飛散防止フィルム			○ガラス貫通防止フィルム	・SF		6 内装改修工事	<p>1 改修範囲 [6. 1. 3]</p> <p>既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p> <p>2 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルをく ・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・自死工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>3 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]</p> <p>間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 3. 10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ・図示</p> <p>④ 施工程 [6. 5. 2]</p> <p>⑤ 製材 G [6. 5. 2]</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木額縁</td> <td>25×40</td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>() (造作材の場合) (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>() (造作材の場合) (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する</td> <td>・しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 造作用集成材 G [6. 5. 2]</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面積</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>7 造作用単板積層材 G [6. 5. 2]</p> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する</td> <td>・しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する</td> <td>・しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	木額縁	25×40	※2級	※A種 ・B種					※2級	※A種 ・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面		※上小節	※A種 ・B種			見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・B種						※A種 ・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下					※1等	※10%以下			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			() (造作材の場合) (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する	・しない			() (造作材の場合) (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する	・しない	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用							※1等 ・2等									※1等 ・2等			施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用									※1等 ・2等											※1等 ・2等			施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用						※15%以下							※15%以下		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する	・しない	施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する	・しない				※14%以下	・する	・しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用									② ガラス用フィルム	<p>種類 記号 その他性能等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>○日射調整フィルム G</td> <td>内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2</td> <td>可視光線透過率: 65%以上</td> </tr> <tr> <td>○低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○衝撃破壊対応ガラス</td> <td>・G1-1</td> <td>・G1-2</td> </tr> <tr> <td>○飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○層間変位破壊対応ガラス</td> <td>・GD-1</td> <td>・GD-2</td> </tr> <tr> <td>○飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759 による 熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要</p>	○日射調整フィルム G	内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2	可視光線透過率: 65%以上	○低放射フィルム	・LE		○衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2	○飛散防止フィルム			○層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2	○飛散防止フィルム			○ガラス貫通防止フィルム	・SF	
	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・7/8寸製建具	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・樹脂製建具	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・鋼製建具	・外部	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・内部	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・鋼製軽量建具	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・ステンレス製建具	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・木製建具	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・普通合板 G	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) ・ 接着の程度(・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・天然木化粧合板 G	樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・MDF G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・A種	S-4	A-3	W-4	・70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・B種	S-5	A-4	W-5	・100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
セクション材料による区分	風圧力による区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスチック	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・160×160	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・200×200	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○日射調整フィルム G	内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2	可視光線透過率: 65%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
木額縁	25×40	※2級	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		※2級	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
見え掛り面		※上小節	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		※1等	※10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		※1等	※10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		() (造作材の場合) (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する	・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		() (造作材の場合) (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する	・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
								※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
								※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				・する	・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			※14%以下	・する	・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			※14%以下	・する	・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○日射調整フィルム G	内貼り用 ※30-1 外貼り用 ※30-2	可視光線透過率: 65%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
摘要		設計年月日	株式会社金子設計			総括設計	製図		縮尺		工事名称		図名		図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 第333287号 木村邦男			木村	常井	常井	A1:S:NS A3:S:NS	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事		建築特記仕様書2		A-02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

<p>35 階段滑り止め</p> <p>36 黒板及びホワイトボード</p> <p>37 表示</p> <p>38 タラップ</p> <p>39 ブラインド</p> <p>40 ロールスクリーン</p> <p>41 カーテン</p> <p>42 カーテンレール</p> <p>43 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>44 天井点検口</p> <p>45 床点検口</p> <p>46 くつふきマット</p> <p>47 流し台ユニット</p> <p>48 鋼製書架及び物品棚</p>	<p>49 屋内掲示板</p> <p>50 洗面カウンター</p> <p>51 防煙垂れ壁</p> <p>52 収納家具</p> <p>7 塗装改修工事</p> <p>① 材料</p> <p>② 下地調整</p> <p>③ 素地ごしらえ</p> <p>4 錆止め塗料塗り</p> <p>⑤ 塗装</p>	<p>8 耐震改修工事</p> <p>9 環境配慮改修工事</p> <p>8 断熱・防露改修工事</p> <p>9 屋上緑化改修工事</p> <p>10 透水性アスファルト舗装改修工事</p>	<p>フェールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>断熱材打込み工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>施工箇所</p> <p>断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※A種1 A種1H</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>施工箇所</p> <p>断熱材後張り工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>種類</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>せっこうボード等を張り付けたパネルを使用</p> <p>材質</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>張り付け工法</p> <p>断熱材の張り付け工法</p> <p>断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>9.4.2~4</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の樹根並びに種類等</p> <p>※適用する</p> <p>※適用しない</p> <p>※図示</p> <p>既切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等</p> <p>※図示</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>かん水装置</p> <p>既存保護層の撤去</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯積物の期間</p> <p>※引き渡しの日から1年</p> <p>9.5.2~5, 9</p> <p>適用範囲：歩道</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <p>※図示</p> <p>路床の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・C種</td> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・建設汚泥から再生した処理土</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・再生クラッシュラン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・切込み砂利</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・砂</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(改修標準仕様書表9.5.1による)</p> <p>・フィルター層</p> <p>改修標準仕様書9.5.3(2)(9)による</p> <p>※図示</p> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>・路床安定処理</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>安定処理の方法</p> <p>置き換え工法</p> <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <p>普通ポルトランドセメント</p> <p>高炉セメントB種</p> <p>フライアッシュセメントB種</p> <p>生石灰(・特号・1号)</p> <p>消石灰(・特号・1号)</p> <p>添加量</p> <p>() kg/m³ (目標CBR ※以上)</p> <p>目標CBRを満足する添加量の確認方法</p> <p>安定処理土のCBR試験</p> <p>・シオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <p>・60g/m²以上</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>・0.5~1.0</p> <p>引張強度</p> <p>・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水性係数</p> <p>・1.5×10⁻² cm/sec以上</p> <p>試験</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>現場CBR試験</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>路床締固め度の試験</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>六価クロム溶出試験</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>路盤</p> <p>路盤の構成及び厚さ</p> <p>・図示</p> <p>路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別)</p> <p>・クラッシュラン</p> <p>・粒度調整砕石</p> <p>・再生クラッシュラン</p> <p>・再生粒度調整砕石</p> <p>・クラッシュラン鉄鋼スラグ</p> <p>・クラッシュラン鉄鋼スラグ</p> <p>・粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>舗装の構成</p> <p>・図示</p> <p>舗装の平坦性</p> <p>※著しく不陸がないもの</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>行う</p> <p>行わない</p> <p>11 舗装版切断時に発生する濁水の処理</p> <p>発生する濁水の処理</p> <p>種類及び処理量</p> <p>・図示による</p> <p>処理方法</p> <p>・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却含まず)</p> <p>・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却含む)</p> <p>2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項</p> <p>1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等</p> <p>1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。</p> <p>2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>その他</p> <p>1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種		・建設汚泥から再生した処理土					・再生クラッシュラン					・切込み砂利					・砂			
種別	材料	厚さ(mm)																													
・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種																											
	・建設汚泥から再生した処理土																														
	・再生クラッシュラン																														
	・切込み砂利																														
	・砂																														
<p>概要</p>	<p>設計年月日</p> <p>株式会社金子設計</p> <p>事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号</p> <p>管理建築士 一級建築士 第33287号 木村邦男</p>	<p>総括設計製図縮尺</p> <p>A1:S:NS</p> <p>A3:S:NS</p>	<p>工事名</p> <p>狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事</p> <p>図面番号</p> <p>建築特記仕様書 4</p> <p>A-04</p>																												



1階平面図 1/100

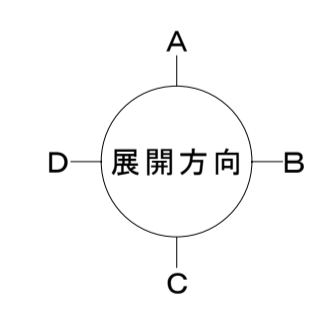
- 天井面一部改修
 - A** : 天井仕上撤去新設 (LGS下地共) シナ合板 CL
 - B** : 天井仕上撤去新設 (LGS下地共) 化粧石膏ボード厚9.5
- 直接仮設
 - : 外部足場 (くさび式) を示す。
 - : 柔剣道場内、内部足場下合板養生範囲を示す。合板厚12敷 2.7m×13.1m 5箇所
- 建具改修
 - C** : 建具ガラスフィルム貼りを示す。(透明 遮熱) 4.5m×2.6m 3箇所

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男				A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	1階平面図	A-06

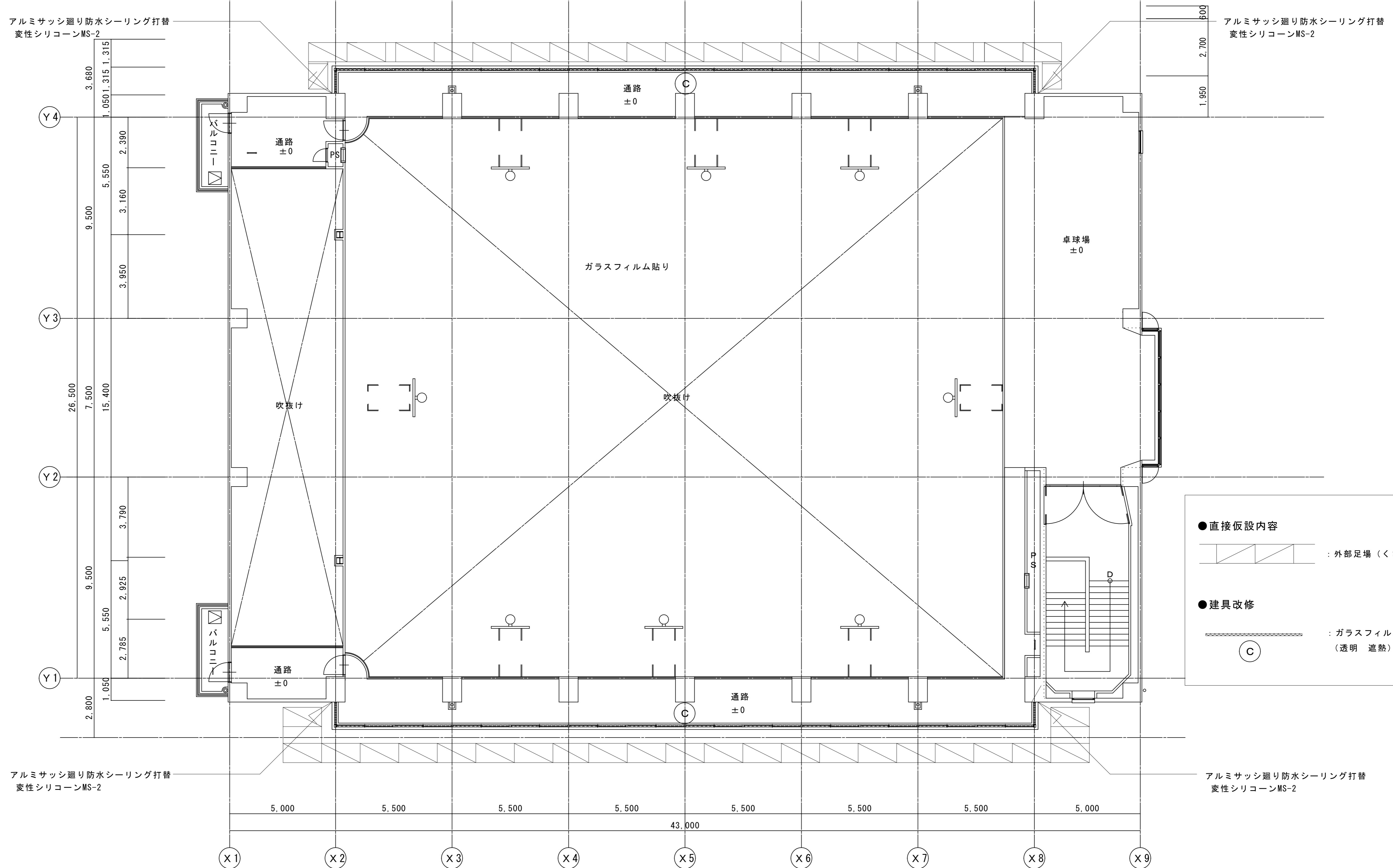


2階平面図 1/100

- 壁面一部改修 ※展開図参照
- 天井面一部改修
 - ⊞ B : 天井仕上撤去新設 (LGS下地共)
 - 化粧石膏ボード厚9.5
- 直接仮設内容
 - ▨ : 外部足場 (くさび式) を示す。
 - ▨ : フローリング上合板養生を示す。合板厚9敷



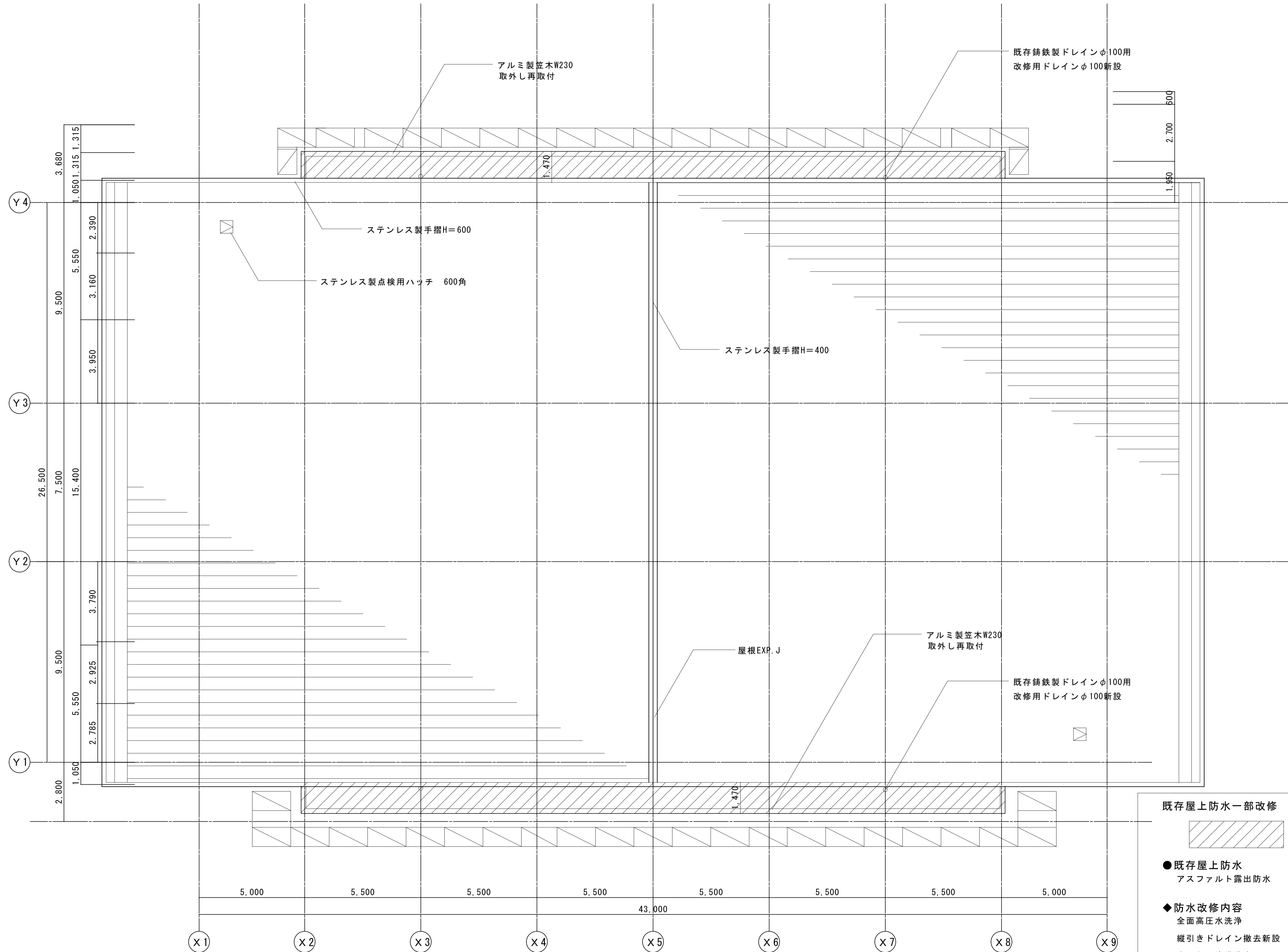
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一般建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一般建築士 第333287号 木村邦房	木	富	富	A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	2階平面図	A-07



- 直接仮設内容
 - : 外部足場 (くさび式) を示す。
- 建具改修
 - : ガラスフィルム貼りを示す。
(透明 遮熱)


3階平面図 1/100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男				A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	3階平面図	A-08



屋根伏図 1/100

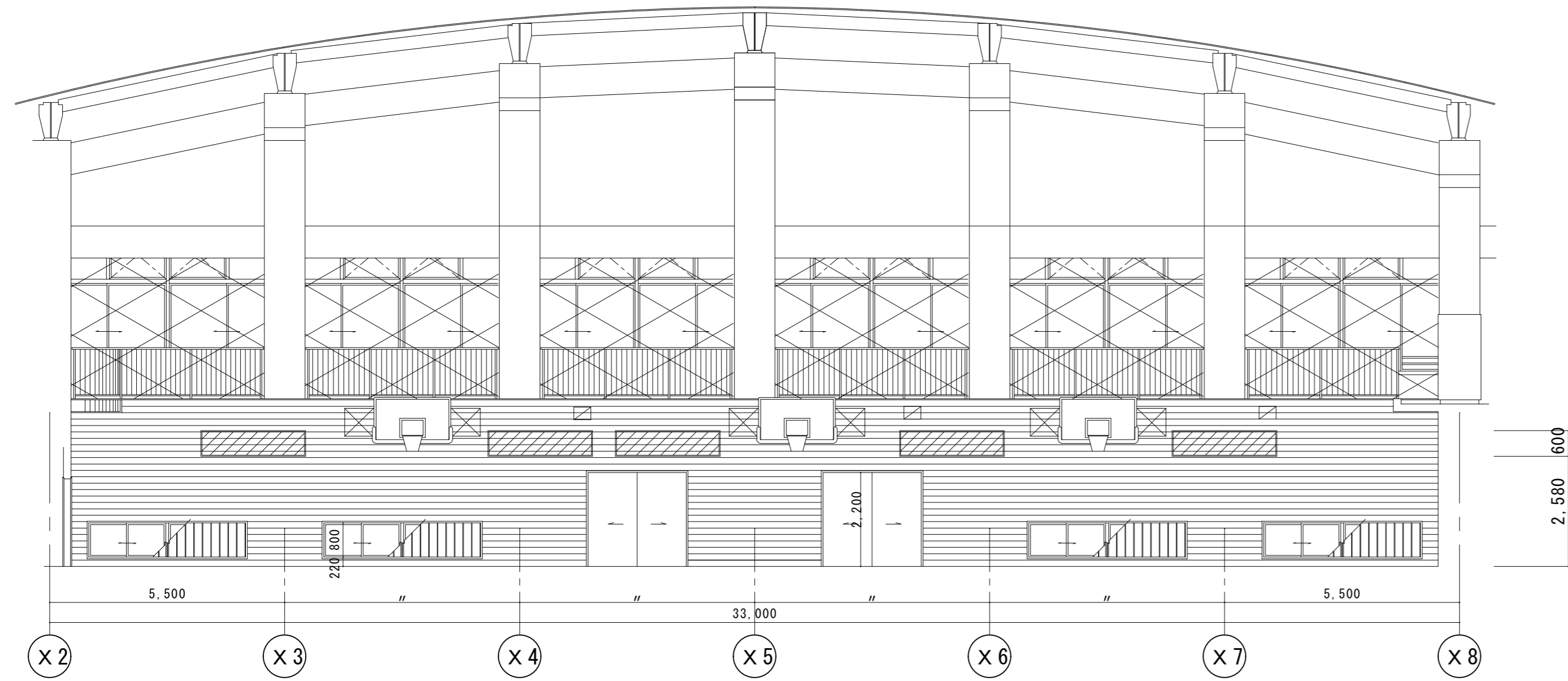
既存屋上防水一部改修

 : 防水改修範囲を示す。

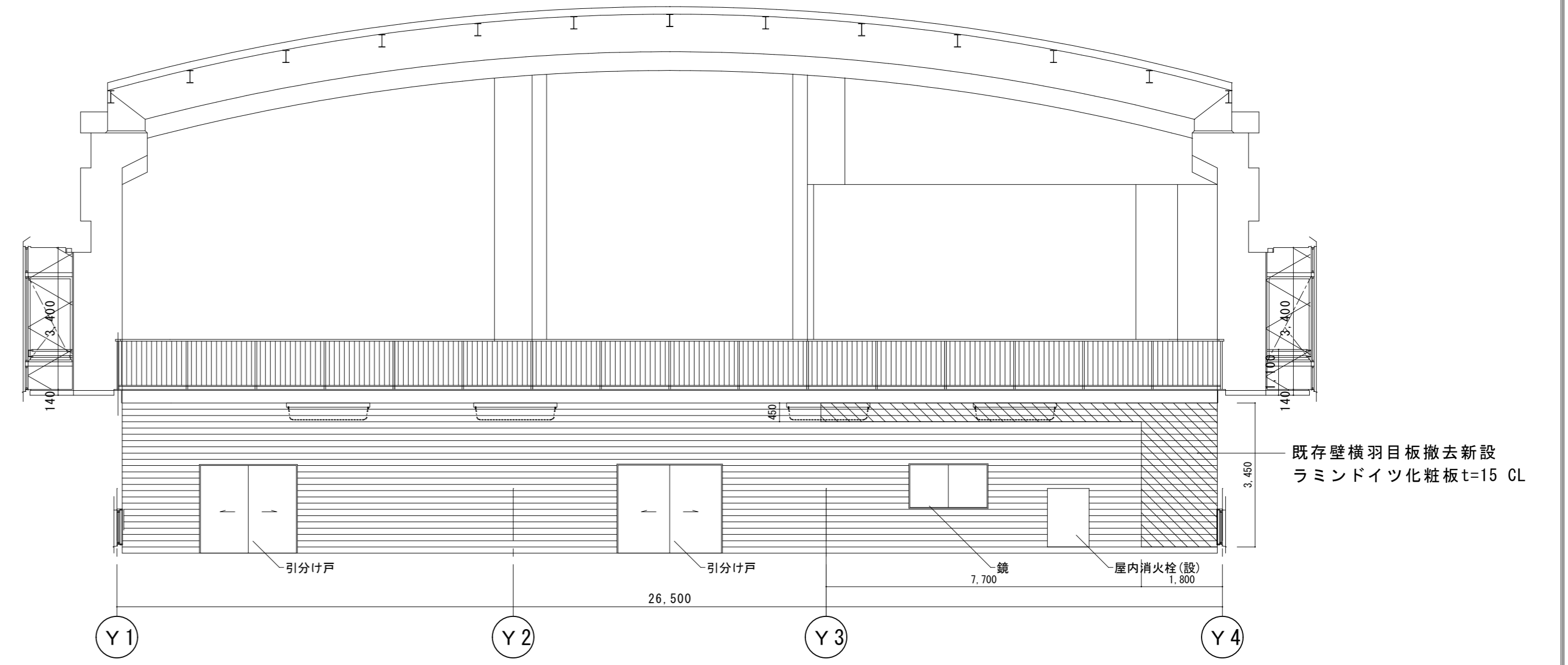
- 既存屋上防水
アスファルト露出防水
- ◆ 防水改修内容
全面高圧水洗浄
縦引きドレイン撤去新設 (2箇所づつ計4箇所)
ウレタン塗膜防水
平場 : 2成分形ウレタン塗膜防水密着工法 X-2準拠
立上り : 2成分形ウレタン塗膜防水密着工法 X-2準拠
立上り防水端部シール処理
(既存笠木取外し再取付)

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	屋根伏図	A-09

：ガラスフィルム貼り
(透明 遮熱)



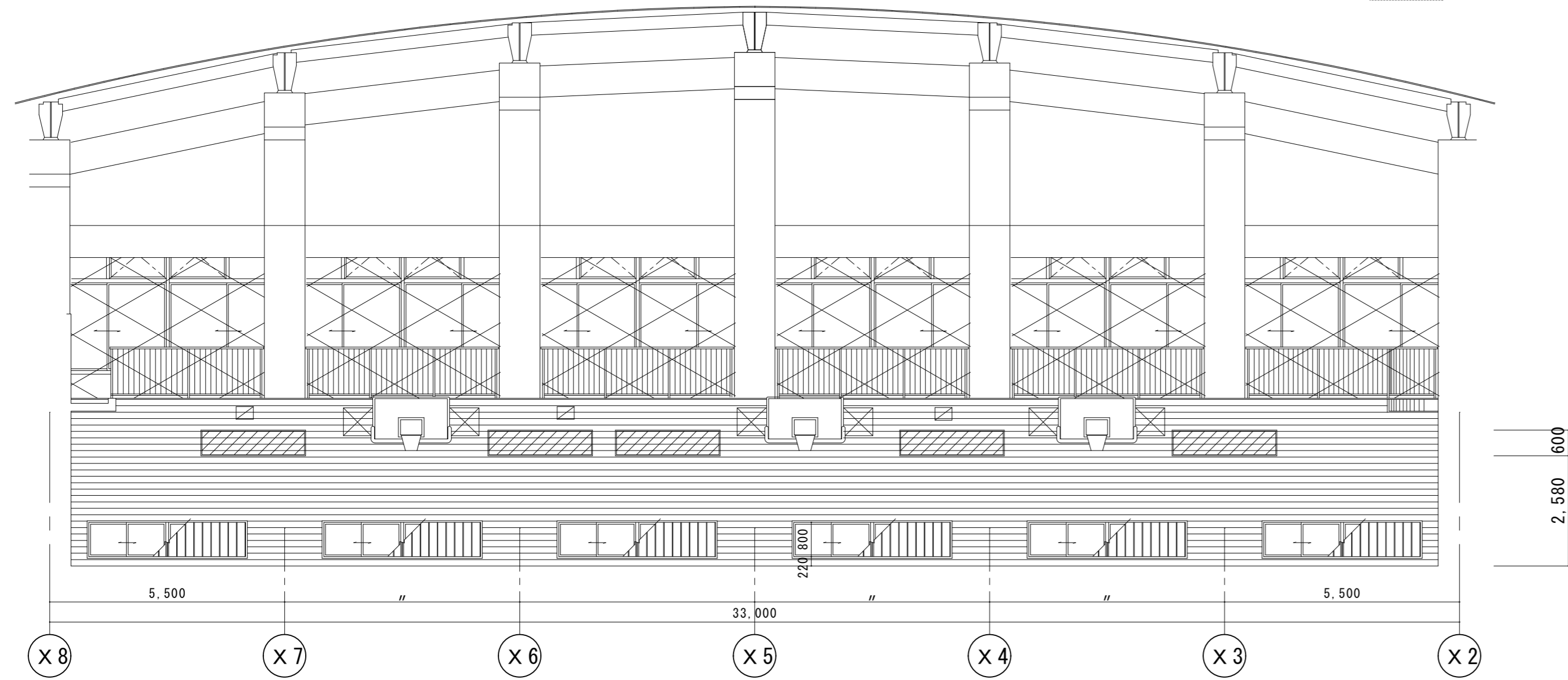
展開図 A面 1/100



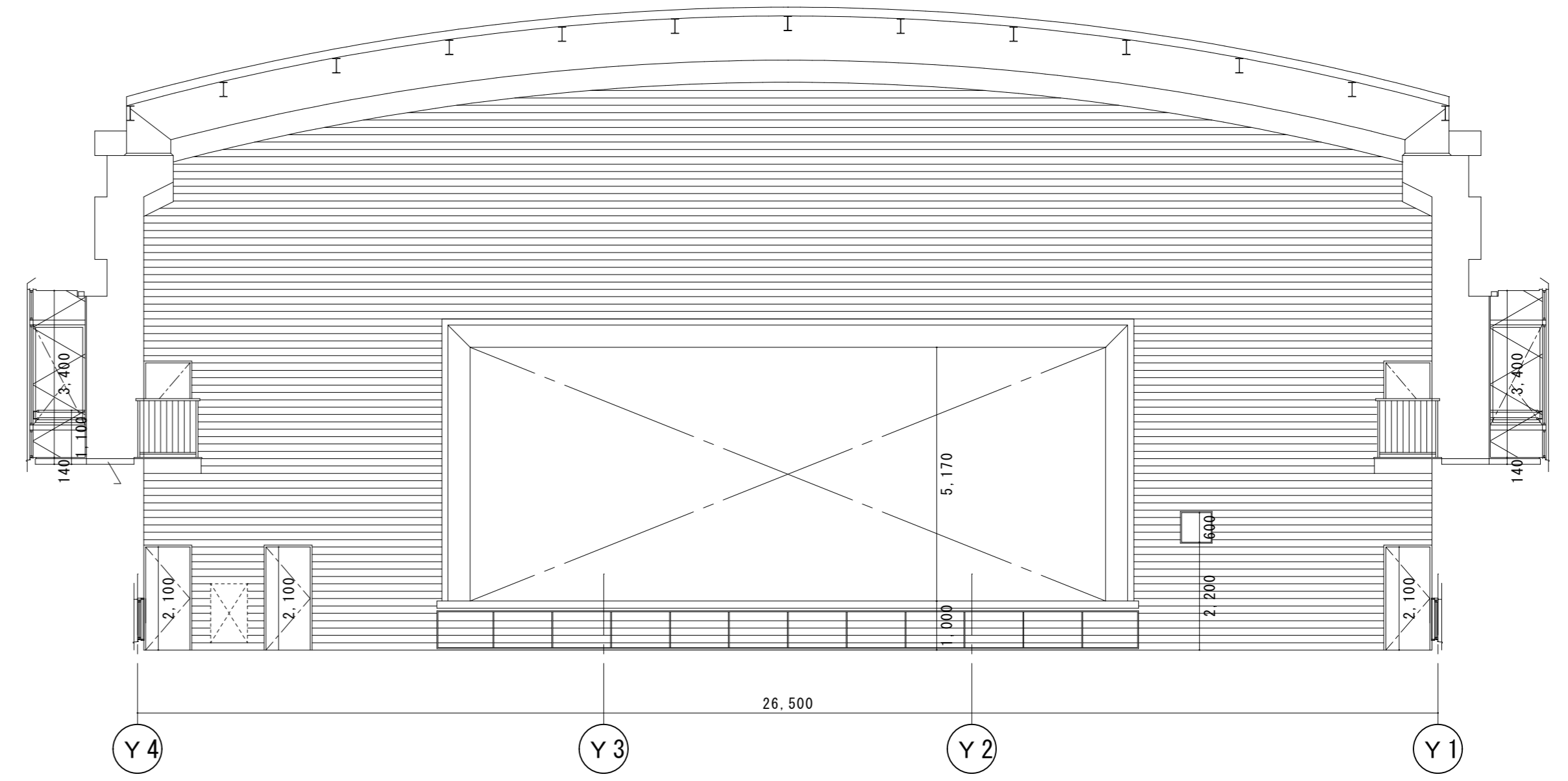
展開図 B面 1/100

：シナ合板厚5.5 CL
木製額縁25×40 (4方向) CL
既存壁横羽目板撤去 (下地共)

：空調機用防球カゴ (機械設備工事)

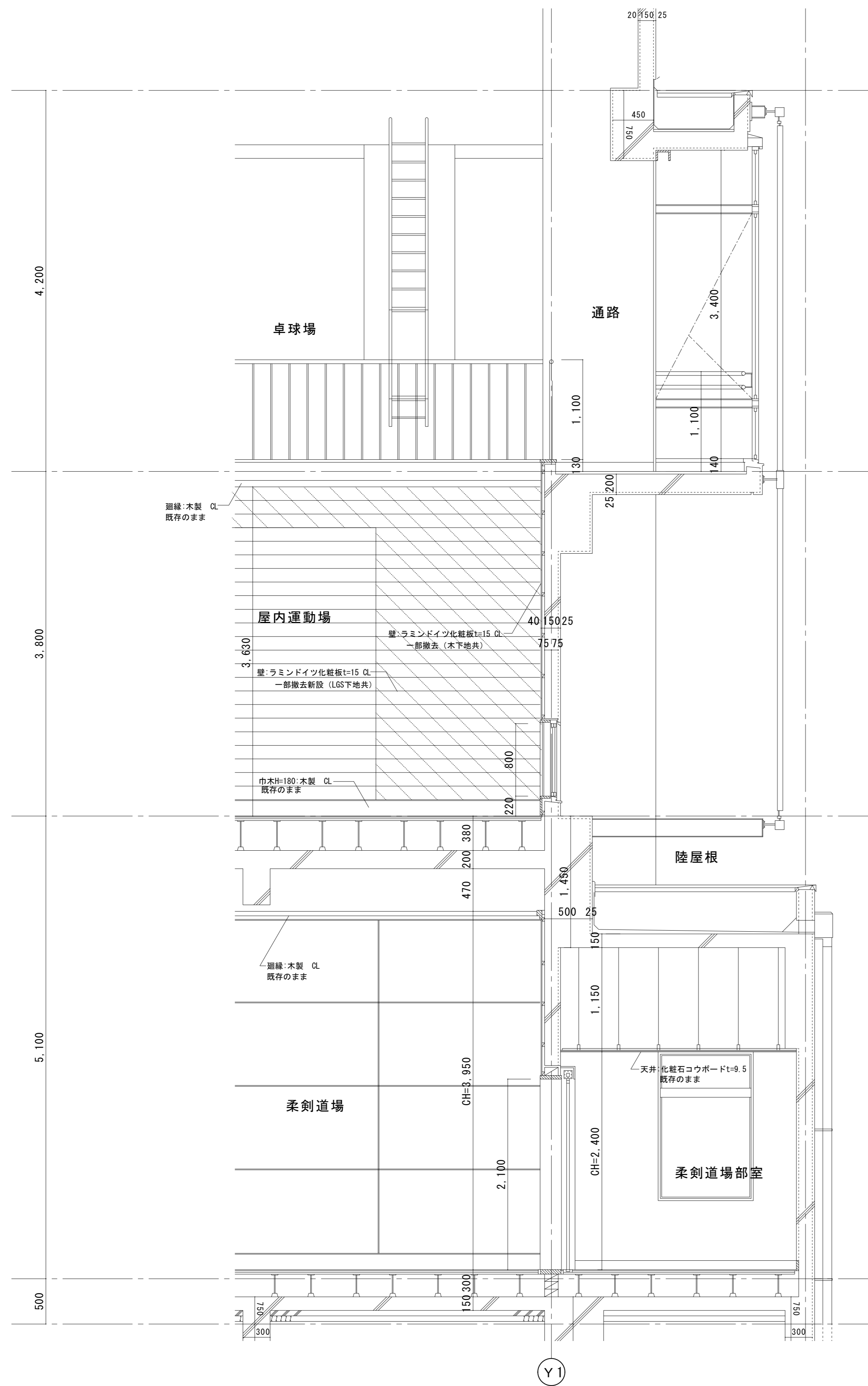


展開図 C面 1/100

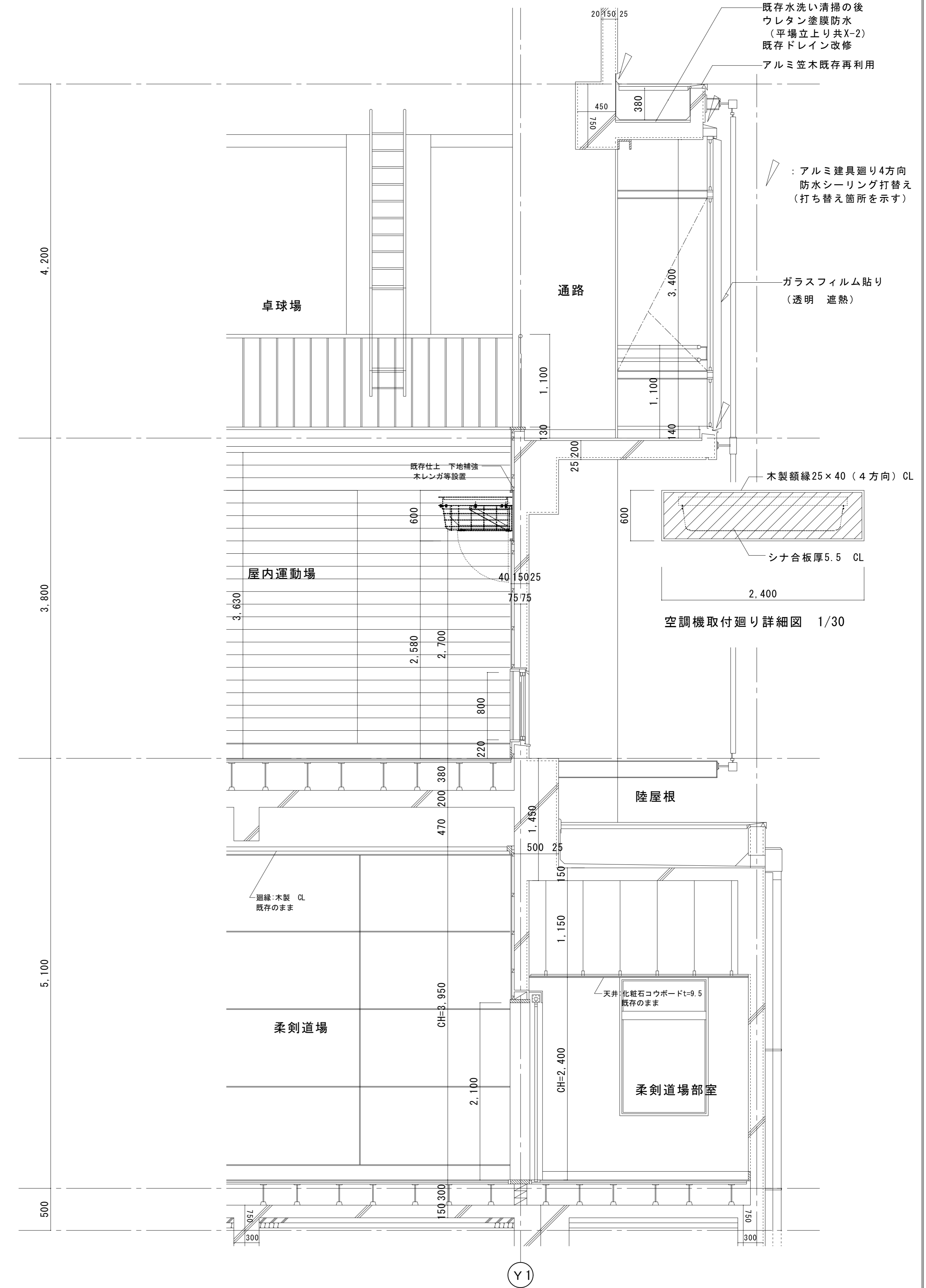


展開図 D面 1/100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括 設計 製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	  	A1:S=1/100 A3:S=1/200	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	屋内運動場展開図	A-10

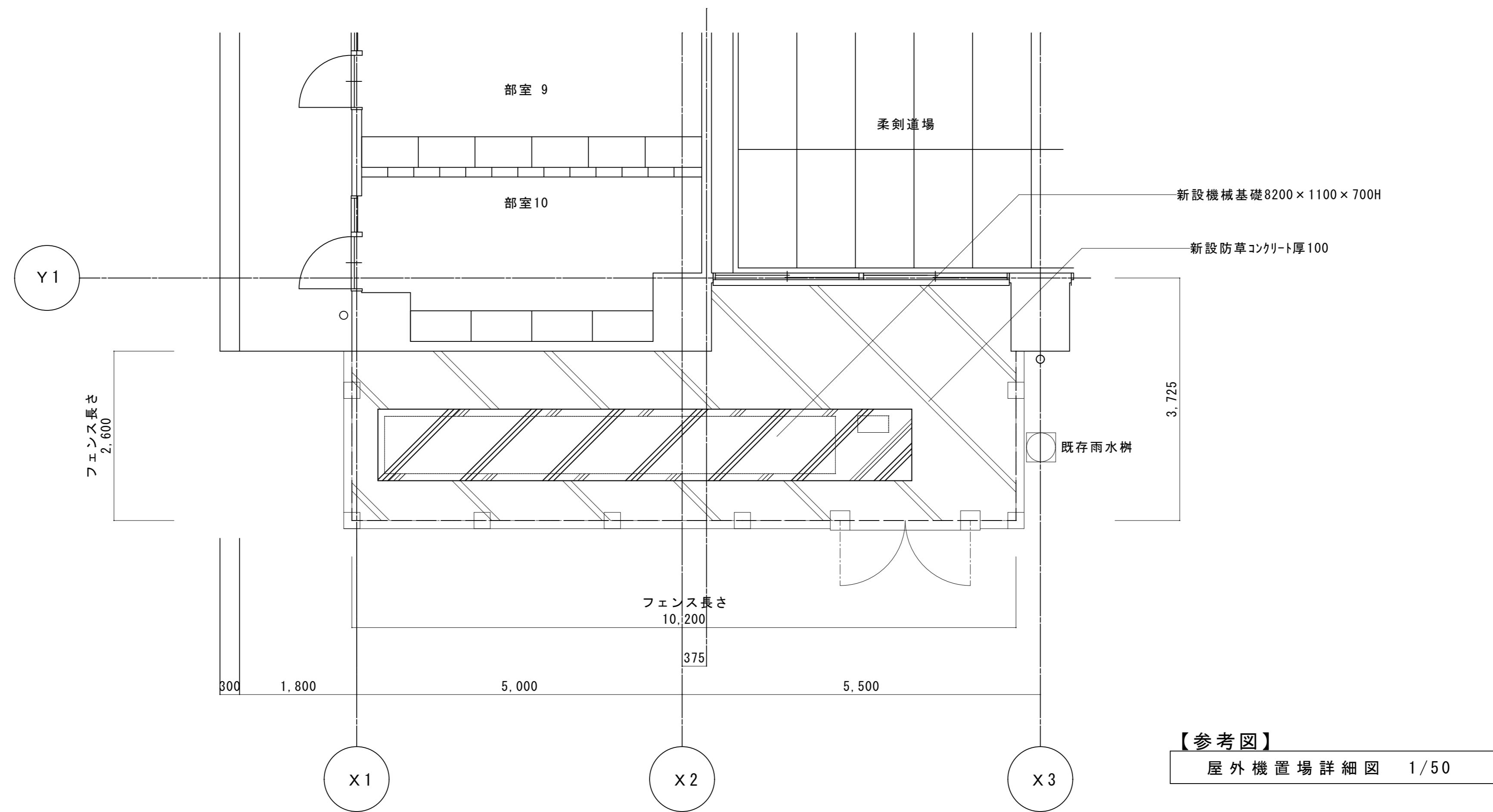


Y 1 通り矩計図 (改修前) 1/100

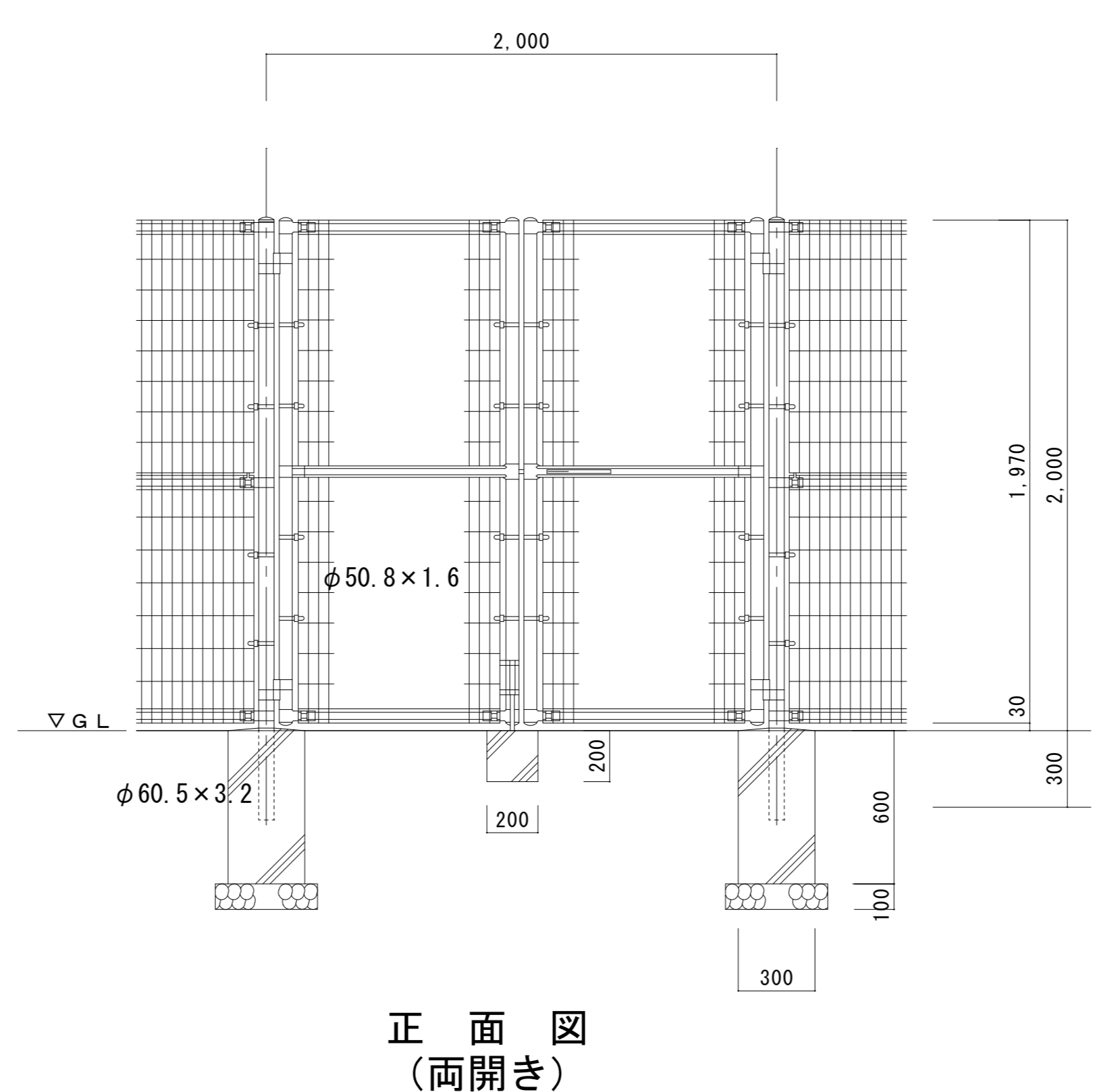
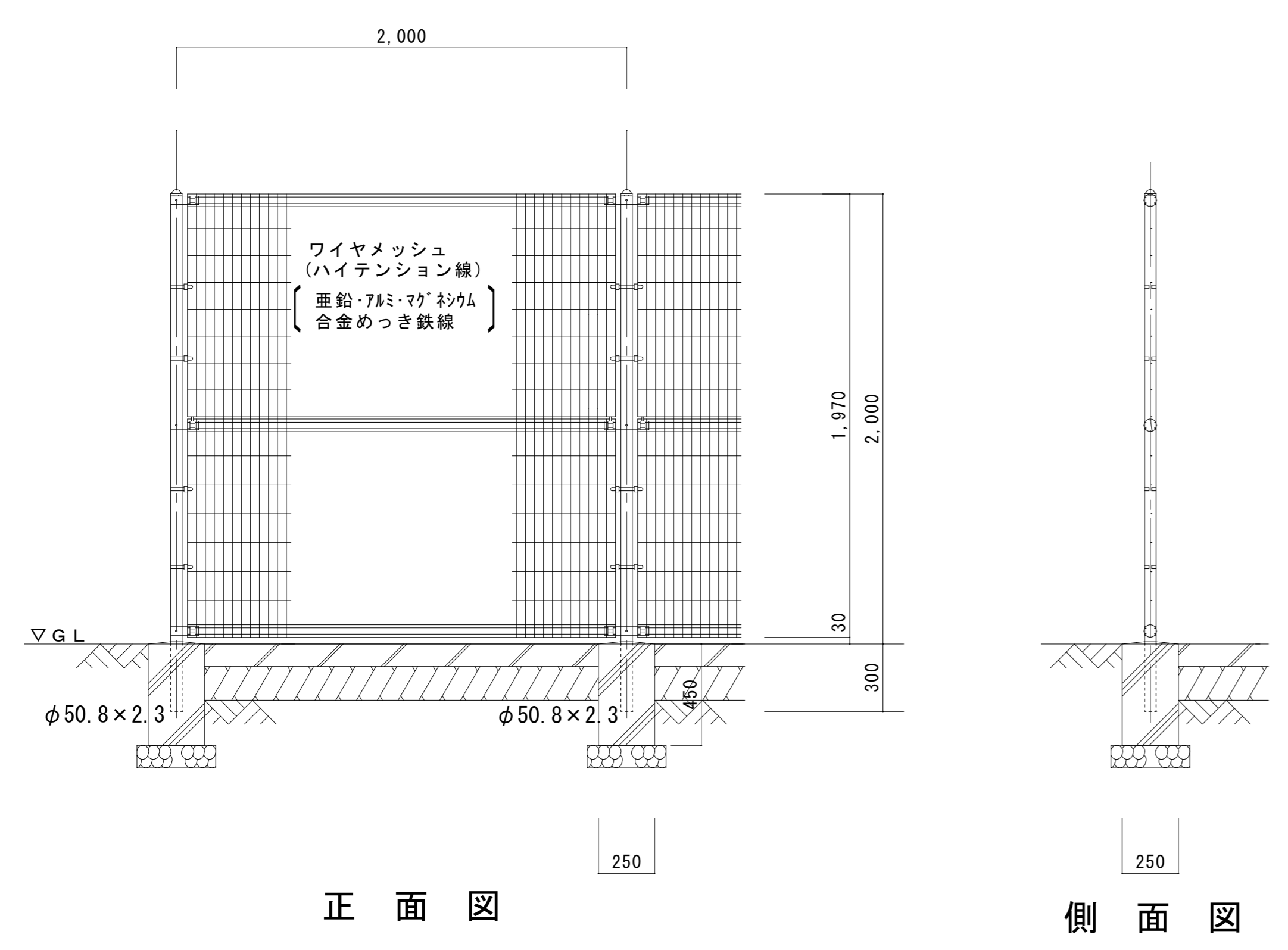


Y 1 通り矩計図 (改修後) 1/100

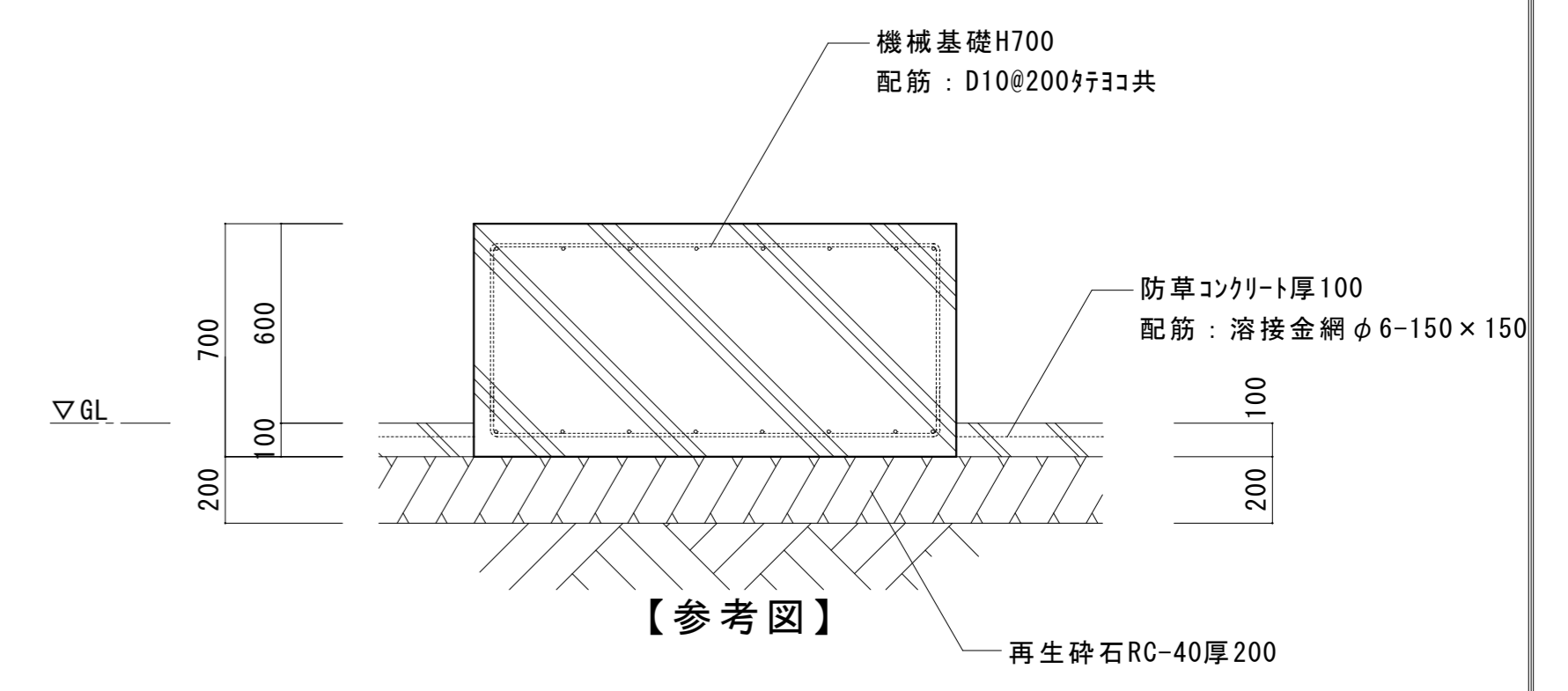
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	木	金	子	A1:S=1/30 A3:S=1/60	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	矩計図	A-11



メッシュフェンス (H=2000) 詳細図 S=1/20



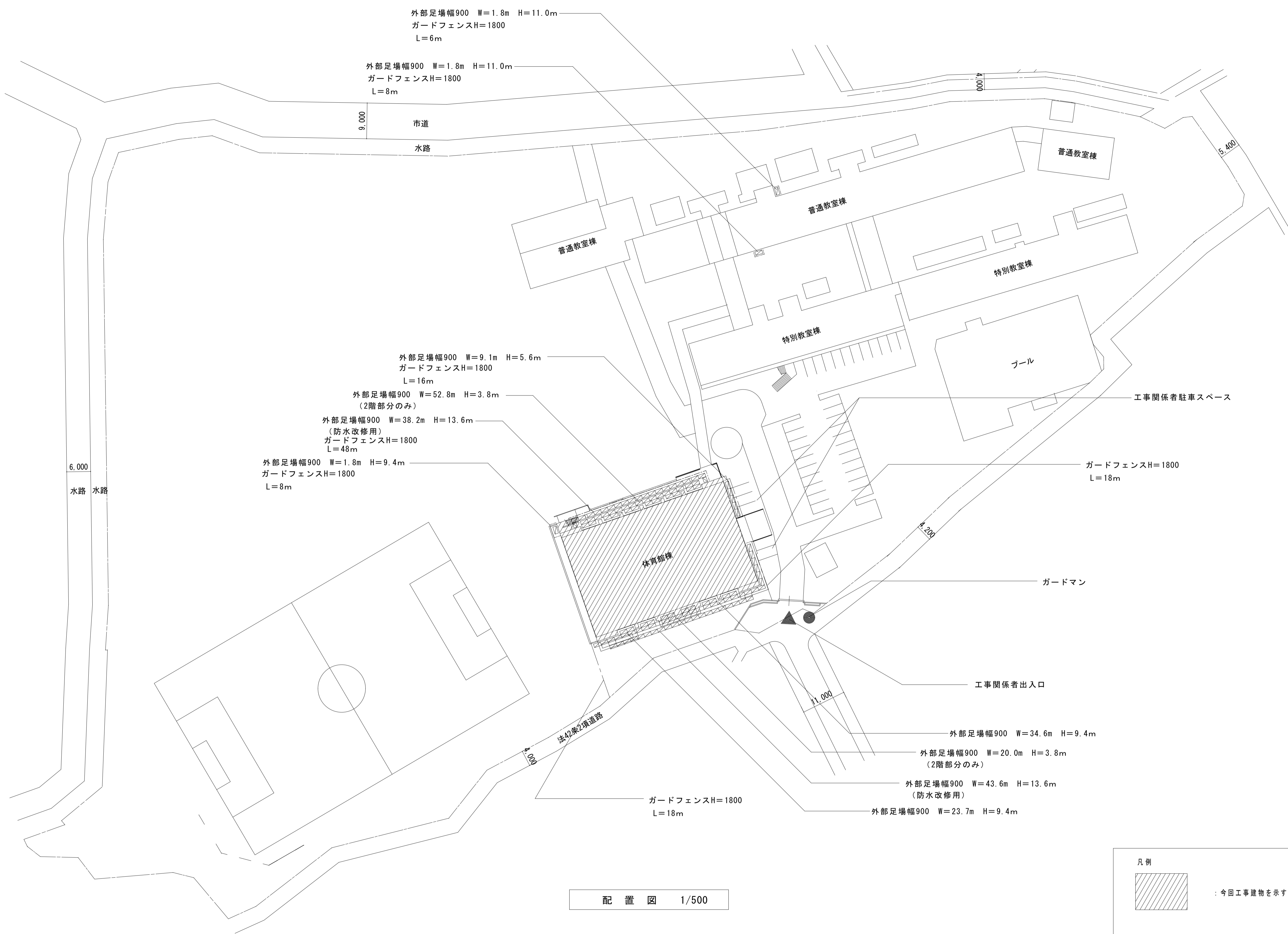
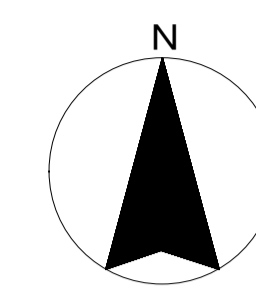
空調機械基礎断面図 S=1/20



特記：コンクリート設計強度は下記のとおりとする

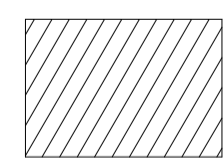
- ・機械基礎 : コンクリート設計強度：21N/mm² スランプ18
- ・防草コンクリート：コンクリート設計強度：18N/mm² スランプ18
- ・基礎高は雨水樹より600mm以上とする
- ・形状は受注者が作成する施工図によるものとし、監督員の承諾を受ける。

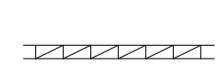
摘要	設計年月日	株式会社金子設計 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			木村	宮井	宮井	A1:S=1/50、20 A3:S=1/100、40	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	外構図	A-12

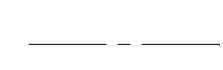


配置図 1/500

凡例

 : 今回工事建物を示す

 : 外部足場(くさび式)を示す。

 : 仮囲い(ガードフェンスH=1800)を示す。

※屋内作業室、搬入経路については
適切に養生、清掃を行うものとする。

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括 設計 製図 縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房	木村 隆井 隆井 A1:S=1/500 A3:S=1/1000	狭山市立西中学校体育館空調設備等整備工事	仮設計画(案)	A-13